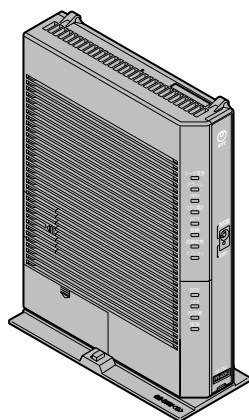


PR-400KI

取扱説明書

このたびは、PR-400KIをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
ご利用前の注意事項	14
目次	19
「機能詳細ガイド」目次	22
マニュアルの読み進めかた	24
「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた	25

1 章 最初に確認する

1-1 セットを確認してください	1-2
1-2 各部の名前	1-6
1-3 あらかじめ確認してください	1-14
パソコンの準備	1-14
対応 OS の確認と Web ブラウザの準備	1-14

2 章 本商品を設置する

2-1 設置・接続	2-2
本商品を設置する	2-2
スタンドを付けて縦置きにする	2-2
スタンドを用いて壁掛けにする	2-3
回線に接続する	2-5

3 章 ひかり電話の使いかた

3-1 ひかり電話の使いかた	3-2
電話のかけかた	3-2
電話の受けかた	3-3
ひかり電話で発着信できるサービス	3-4
接続可否番号一覧	3-4
内線通話	3-5
内線転送	3-5
3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する	3-6
キャッチホン	3-6
ナンバー・ディスプレイ	3-8
発信者情報（番号）の通知について	3-9
ダブルチャンネル／複数チャンネルを利用する	3-9
マイナンバー／追加番号を利用する	3-10

3-3	ひかり電話のいろいろな使いかた	3-11
	内線番号設定	3-11
	ひかり電話の電話番号	3-11
	キャッチホン・ディスプレイ	3-12
	割込音通知	3-12
	個別着信	3-13
	一斉着信	3-13
	着信鳴り分け	3-13
	モデムダイヤルイン	3-14
	優先着信ポート	3-14
	指定着信機能	3-16
	通話中の相手先からのメディア変更機能	3-17
3-4	パソコンからひかり電話の設定をする	3-18
	ひかり電話の設定をするには	3-18
3-5	電話機からひかり電話の設定をする	3-27
	電話機からひかり電話の設定をするには	3-27
3-6	複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する	3-33
	ファクスと電話で使い分けたいときには	3-33
	事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには	3-34
	2世帯で電話を鳴り分けて使うには	3-35
	ひかり電話用無線IP端末などを利用したいときには	3-36
	指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに 着信させたいときには	3-37

4章 インターネット接続の設定をする

4-1	設定の流れ	4-2
4-2	パソコンのネットワーク設定 (Windows® 7/Windows Vista®)	4-3
	パソコンのネットワークの設定をする (Windows® 7/Windows Vista®)	4-3
	パソコンとの接続を確認する (Windows® 7/Windows Vista®)	4-4
	Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)	4-5
	JavaScript の設定をする (Windows® 共通)	4-6
4-3	本商品の設定をする	4-8
4-4	インターネットに接続する	4-11
4-5	フレッツ・スクウェアに接続する	4-12

5章 無線LANのご利用について

5-1	無線LAN 設定の流れ	5-2
5-2	本商品への無線LAN カードの取り付け	5-4
5-3	パソコンに装着した無線LAN カードとの無線LAN の設定をする (無線LAN 簡単接続機能)	5-5
	「らくらくスタートボタン」で設定する (推奨)	5-5
	電話機から設定する	5-7
	「Web 設定」で設定する	5-8
5-4	ゲーム機との無線LAN の設定をする (らくらく無線スタート)	5-10

	「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）	5-10
	電話機から設定する	5-12
	「Web 設定」で設定する	5-14
5-5	Windows® 7 との無線 LAN の設定をする	
	（無線 LAN 簡単接続機能）	5-17
	「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）	5-17
	電話機から設定する	5-20
	「Web 設定」で設定する	5-23
5-6	電話機から無線 LAN の設定を変更する	5-26
6 章	本商品のバージョンアップ	
6-1	本商品のバージョンアップの流れ	6-2
6-2	バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする	6-3
	バージョンアップお知らせ機能の機能概要	6-3
	バージョンアップ実行時期を設定する	6-4
6-3	当社ホームページよりファイルをダウンロードして	
	バージョンアップする	6-6
	「Web 設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」	
	からファイルを指定してバージョンアップする	6-6
6-4	ファームウェア情報を確認する	6-8
	本商品のファームウェアバージョン、ファームウェア更新種別を	
	確認する	6-8
7 章	故障かな？と思ったら	
7-1	設置に関するトラブル	7-2
7-2	ご利用開始後のトラブル	7-8
8 章	付録	
8-1	パソコンのネットワーク設定	8-2
	Windows® XP をご利用の場合	8-3
	Mac OS X (10.5/10.6) をご利用の場合	8-5
	JavaScript の設定をする (Mac OS)	8-6
8-2	ひかり電話用無線 IP 端末などの設定をする	8-7
8-3	設定値の保存・復元	8-8
	設定値の保存	8-8
	設定値の復元	8-9
8-4	本商品の初期化	8-10
8-5	ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について	8-11
	Q50IP 電話との同時利用方法について	8-11
	「フレッツの IP-VPN サービス」との同時利用方法について	8-13
8-6	電話機からの設定一覧	8-14
8-7	用語集	8-17
8-8	索引	8-24
8-9	仕様一覧	8-27

「機能詳細ガイド」 目次

付属の「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、25 ページをご覧ください。

1. 機能詳細説明

機能一覧

- －電話機能－
 - ひかり電話
- －ルータ機能－
 - IP マスカレード
 - 静的 IP マスカレード
 - 静的 NAT
 - WAN → LAN 中継機能
 - 静的ルーティング
 - パケットフィルタリング
 - ステートフル パケット インスペクション
 - DHCPv4 サーバ
 - DNS Proxy
 - UPnP
 - 簡易 DMZ
- －無線機能－
 - IEEE802.11b 無線 LAN
 - IEEE802.11g 無線 LAN
 - IEEE802.11n 無線 LAN
 - 暗号化
 - MAC アドレスフィルタリング機能
 - 無線ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能
 - 無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)
 - マルチ SSID
 - ポートセパレート
 - オートチャネルセレクト
 - らくらく無線スタート
 - 無線 LAN 簡単接続機能
 - 省電力機能
 - 電波強度測定
- －WAN 側機能－
 - PPPoE ブリッジ
 - PPPoE マルチセッション
 - 無通信監視タイマ
 - PPP キーブアライブ
- －その他の機能－
 - 機器設定用パスワードの変更
 - ファームウェア更新
 - 配信事業者ソフトウェア一覧
 - 情報表示 (装置情報、無線 LAN 情報)
 - ログ表示

2. 設定例

設定例

- －ブリッジモード－
 - ブリッジモード
 - フレッツ接続ツールのご紹介
- －フレッツ関連－
 - フレッツ・スクウェアを利用するには
- －その他の設定例－
 - ネットワークゲームをするには
 - 外部にサーバを公開するには
 - ＜パソコンの設定＞
 - ・ Windows® 7 の場合
 - ・ Windows Vista® の場合
 - ・ Windows® XP の場合
 - ・ Mac OS の場合
 - ＜本商品の設定＞
 - ・ 「Web 設定」で設定する
 - ファイアウォールを設定するには
 - PPPoE マルチセッション環境で
 - サーバを公開するには

3. Web 設定

- 「Web 設定」の使いかた
 - 起動のしかた
 - トップページ
 - 設定のしかた
 - －基本設定－
 - 接続先設定
 - －電話設定－
 - ひかり電話共通設定
 - 内線設定
 - ・ 内線設定 (アナログ端末)
 - ・ 内線設定 (IP 端末)
 - －無線 LAN 設定－
 - 無線 LAN 設定
 - MAC アドレスフィルタリング
 - 無線 LAN 端末設定
 - 無線 LAN 簡単セットアップ
 - －詳細設定－
 - DNS 設定
 - DHCPv4 サーバ設定
 - セキュリティ設定
 - ・ SPI 設定
 - ・ IPv4 パケットフィルタ設定
 - ・ IPv6 パケットフィルタ設定

- 静的 IP マスカレード設定
- 静的 NAT 設定
- LAN 側静的ルーティング設定
- 高度な設定
- －メンテナンス－
- 機器設定用パスワードの変更
- 時刻設定
- 設定値の保存&復元
- 設定値の初期化
- ファームウェア更新
- PING テスト
- 機器再起動
- UPnP NAT 情報消去
- ストレージ機器メンテナンス
- －情報－
- 現在の状態
- 障害ログ
- 通話ログ
- DHCP クライアント取得情報
- DHCPv4 サーバ払い出し状況
- DHCPv6 サーバ払い出し状況
- 更新ログ
- 通信ログ
- 経路情報取得ログ
- セキュリティログ
 - ・セキュリティログ (IPv4)
 - ・セキュリティログ (IPv6)
- UPnP ログ
- UPnP CP テーブル
- UPnP NAT 設定情報
- 無線 LAN 情報

4. 無線機能の使いかた

- 無線機能の使いかた
- 無線 LAN カードの使いかた
- 無線セキュリティ
- <「Web 設定」で設定する>
- －無線 LAN 設定－
- 無線 LAN 設定
- MAC アドレスフィルタリング
- 無線 LAN 端末設定
- 無線 LAN 簡単セットアップ

5. ひかり電話の使いかた

- ひかり電話の使いかた
- 本商品に接続できる機器について
- アナログ端末を接続するには
- IP 端末（音声）を接続するには
- IP 端末（通常）を接続するには
- <「Web 設定」で設定する>
- －電話設定－
- ひかり電話共通設定
- 内線設定
 - ・内線設定（アナログ端末）
 - ・内線設定（IP 端末）
- <電話機で設定する>
 - ・電話機からひかり電話の設定をするには

6. その他（付録）

- その他（付録）
- 用語集
- 電話機で設定できる機能一覧

※フレッツ 光ネクストサービス情報サイト
（NTT 東日本）／フレッツ 光ネクストサー
ビス情報サイト（NTT 西日本）を提供し
ています。（2011 年 2 月現在）

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

- 最初にお読みください

本商品の接続、ひかり電話を使えるようにするまでの手順をわかりやすく説明しています。

- 取扱説明書（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

- 機能詳細ガイド（：HTML ファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、インターネットに接続するまでの流れは、下記ようになります。

無線 LAN を利用する場合は「5 章 無線 LAN のご利用について」を参照してください。

付属品の確認をします

「1-1 セットを確認してください」



取り付けます

「2 章 本商品を設置する」



ひかり電話を利用します

「3 章 ひかり電話の使いかた」



インターネットに接続します

「4 章 インターネット接続の設定をする」



無線 LAN の設定をします

「5 章 無線 LAN のご利用について」

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

※本書での①の記載は、設定中などに特に確認していただきたい注意事項です。

※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」に収録された電子マニュアルの見かた

1

「PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM」をパソコンにセットする

2

Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

■ CD-ROM の取扱上・保管上の注意

- ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
- ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
- ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
- ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
- 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
- ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

Windows®、Windows Vista®は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP はオペレーティングシステムです。

Internet Explorer®は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Myriad and Jbed are trademarks or registered trademarks of Myriad Group AG.

本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Living Connect を搭載しています。

ACCESS、NetFront、IrFront は、日本国、米国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。

© 2011 ACCESS Co., Ltd. All rights reserved.

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

This Project includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (<http://www.apache.org/>)

Copyright © 1993-2002 by Darren Reed.

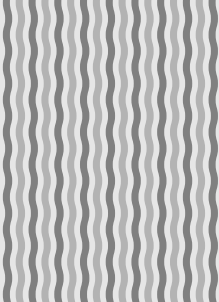
「CloudRunnerDroid」は、株式会社イーフローの商標または登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品の「PR-400Ki 機能詳細ガイド CD-ROM」は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。

付属品の「PR-400Ki 機能詳細ガイド CD-ROM」はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。

また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。



1

最初に確認する

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

- 1-1 セットを確認してください…………… 1-2
- 1-2 各部の名前…………… 1-6
- 1-3 あらかじめ確認してください…………… 1-14

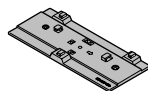
1-1 セットを確認してください

PR-400KI/GE-ONU の場合

■本体



PR-400KI/GE-ONU (1 台)



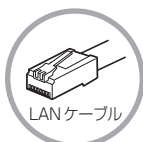
縦置き／壁掛け兼用スタンド (1 台)

※当社工事により取り付け済みの場合があります。

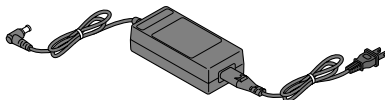
■付属品



LAN ケーブル (1 本／約 2m／緑色)



LAN ケーブル



電源アダプタ (1 式)

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。



取扱説明書
(本書 1 冊)



最初にお読みください
(1 枚)



PR-400KI
機能詳細ガイド CD-ROM (1 枚)



壁掛け設置用ネジ
(2 個)



GE-PON 型「I」
E 光加入者線終端装置タイプ G
ユーザマニュアル (1 冊)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストと形状が異なる場合があります。
- GE-PON 型「I」E 光加入者線終端装置タイプ G ユーザマニュアルは、ひかり電話機能/ルータ機能を利用せず、ONU 機能のみをご利用になる場合に、参照してください。

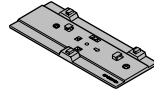
PR-400KI/GV-ONU の場合

■本体



PR-400KI/GV-ONU (1 台)

※本書では、PR-400KI/GE-ONU の場合を例にして、説明しています。PR-400KI/GV-ONU の場合も設定手順などは同じです。



縦置き／壁掛け兼用スタンド (1 台)

※当社工事により取り付け済みの場合があります。

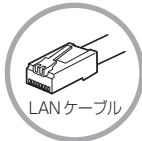
1

最初に確認する

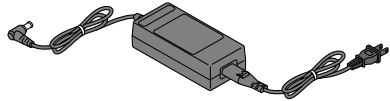
■付属品



LAN ケーブル (1 本／約 2m／緑色)



LAN ケーブル



電源アダプタ (1 式)

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。



取扱説明書
(本書 1 冊)



最初に読んでください
(1 枚)



PR-400KI
機能詳細ガイド CD-ROM (1 枚)



壁掛け設置用ネジ
(2 個)



SCM-GE-PON 形「」
C 光加入者線終端装置タイプ G
ユーザマニュアル (1 部)

- セットに足りないものがあつたり、取扱説明書に乱丁・落丁があつた場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストと形状が異なる場合があります。
- SCM-GE-PON 形「」C 光加入者線終端装置タイプ G ユーザマニュアルは、ひかり電話機能/ルータ機能を利用せず、ONU 機能のみをご利用になる場合に、参照してください。

■お客様にご用意いただくもの

<ひかり電話のご利用に必要なもの>



- 電話機
- 開通のご案内

※電話機の電話回線ダイヤル種別は「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「 $\odot$ 」や「 $\oplus$ 」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。
※ホームテレホンの内線電話機やISDN 対応電話機などご利用できません。
※電話機コードもご準備ください。

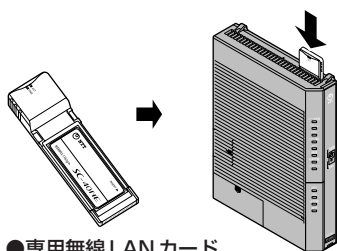
<インターネット接続および、設定変更に必要なもの>



- LAN ポートを持ったパソコン
- プロバイダの設定情報

<パソコンとの無線 LAN 接続に必要なもの>

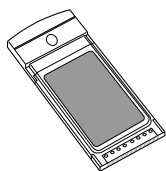
[本商品側に必要なもの]



- 専用無線 LAN カード
(SC-40NE) ※ 1

※本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

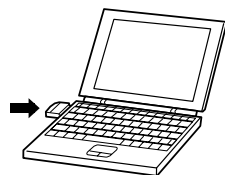
[パソコンで無線 LAN カードご利用時に必要なもの]



- 専用無線 LAN カード
(SC-32KI または SC-32HI、
SC-32NE、SC-32SE) ※ 2 ※ 3



- 専用 CD-ROM
(SC-32KI または SC-32HI、
SC-32NE、SC-32SE) ※ 4



- CardBus 対応の
PC カードスロットを
持ったパソコン

1-1 セットを確認してください

- ※ 1 専用無線 LAN カード (SC-40NE) は、「IEEE802.11b/g/n 互換」「IEEE802.11b/g 互換」に対応しています。本商品では、IEEE802.11a はご利用できません。
- ※ 2 無線 LAN 端末として使用するパソコンなどに装着して使用します。OS は、Windows® 7 32 ビット (x86) 版、Windows Vista® (SP1) 32 ビット (x86) 版、Windows Vista® (SP2) 32 ビット (x86) 版、Windows® XP (SP3) 32 ビット (x86) 版に対応しています。64 ビット (x64) 版 OS、Mac OS には対応しておりません。
- ※ 3 専用無線 LAN カード (SC-32KI または SC-32HI、SC-32NE、SC-32SE) は、IEEE802.11b/g (2.4GHz 帯域)、IEEE802.11a (W52) に対応しています。本商品では、IEEE802.11a はご利用できません。
- ※ 4 最新のプログラムは「フレッツ簡単セットアップツール」にて取得してください。

1

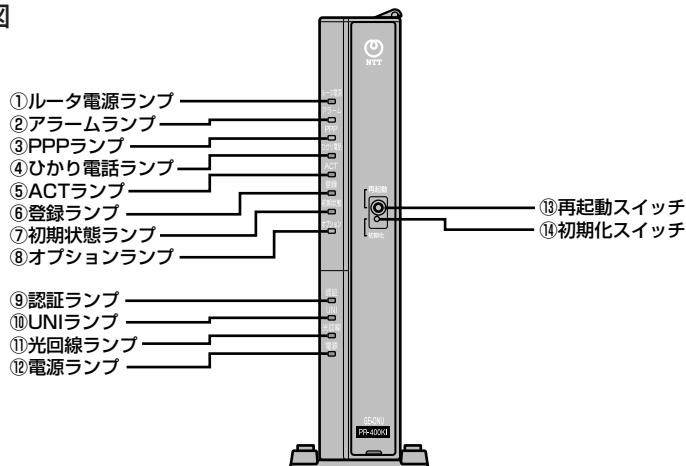
最初に確認する

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

PR-400KI/GE-ONU の場合

●前面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
① ルータ電源ランプ	—	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-8 ページを参照してください。	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※ 1 (「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-3 ページ)を参照してください。)
③ PPP ランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	—	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑥ 登録ランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-8 ページを参照してください。	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定に失敗しました。(認証エラー)
		点滅	ひかり電話の設定に失敗しました。(その他のエラー)

ランプの名称	表示 (色)		状態
⑦ 初期状態ランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態 (初期化された状態) です。※ 1 ※ 2
		点滅	IP アドレスが重複しています。 (「7-2 ご利用開始後のトラブル」(➡7-9 ページ) を参照してください。)
⑧ オプションランプ	青	3 回点滅 → 2 秒点灯	USB ポートに機器が接続されました。
	緑	点灯	ONU 機能のみが有効です。
⑨ 認証ランプ	—	消灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(➡7-3 ページ) を参照してください。)
	緑	点灯	正常な状態です。
⑩ UNI ランプ	—	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑪ 光回線ランプ	—	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(➡7-3 ページ) を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。※ 3
⑫ 電源ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(➡7-3 ページ) を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。※ 3

【ポート名など】

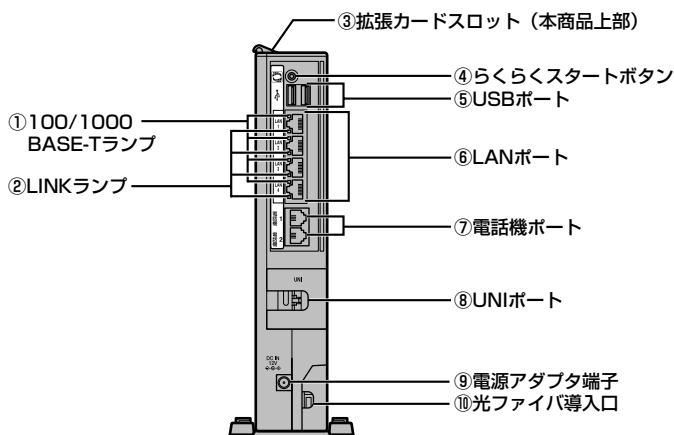
名称	表示	機能説明
⑬再起動スイッチ	再起動	本装置を再起動するときに使用します。
⑭初期化スイッチ	初期化	本装置内部の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。

- ※ 節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。
- ※ 1 ルータ機能のファームウェアの更新中 (手動またはファイル指定) はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプ橙点灯します。(本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。)
- ※ 2 本商品が工場出荷状態 (初期状態ランプ橙点灯) でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと、初期状態ランプは消灯します。ひかり電話ご利用時は、初期状態ランプは消灯します。
- ※ 3 ONU 機能のファームウェアのダウンロードに関しては、お客様に操作いただくことはございません。

【「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
① 100/1000 BASE-T ランプ (4 個)	—	消灯	—
	橙	点灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4 個)	—	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

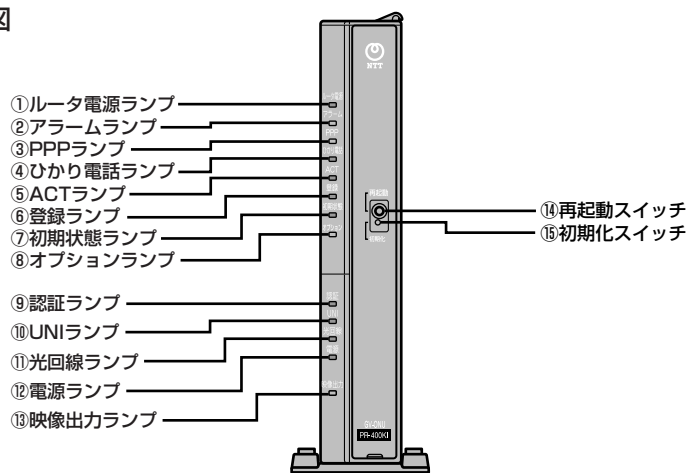
【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (SC-40NE) を装着します。 (●5-4 ページ)
④ らくらくスタートボタン	らくらくスタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑤ USB ポート	—	USB 機器を接続するためのポートです。
⑥ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブル (付属品など) を使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑦ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。(電話機コードは付属していません。)
⑧ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑨ 電源アダプタ端子	DC IN	付属の電源アダプタのコードを差し込みます。
⑩ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。お客様は光ファイバ導入部分に触れないでください。

本商品各部の名前および機能を説明します。

PR-400KI/GV-ONU の場合

●前面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
① ルータ電源ランプ	—	消灯	ルータ機能部に電源が入っていません。
	緑	点灯	ルータ機能部に電源が入っています。
② アラームランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-12 ページを参照してく ださい。	—	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。※ 1 （「7 章 故障かな？と思ったら」 （7-3 ページ）を参照してください。）
		点滅 （最大 10 秒間）	USB ポートの異常を検出しました。
③ PPP ランプ	—	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1 セッション接続中です。
	橙	点灯	2 セッション以上接続中です。
④ ひかり電話ランプ	—	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ ACT ランプ	—	消灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できます。
		点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中 です。
⑥ 登録ランプ ※「無線 LAN 簡単セットアップ」 実行中のランプ表示については 1-12 ページを参照してく ださい。	—	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定に失敗しました。（認証エラー）
		点滅	ひかり電話の設定に失敗しました。（その他のエラー）

ランプの名称	表示 (色)		状態
⑦ 初期状態ランプ	—	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態 (初期化された状態) です。※ 1 ※ 2
		点滅	IP アドレスが重複しています。 (「7-2 ご利用開始後のトラブル」(●7-9 ページ) を参照してください。)
⑧ オプションランプ	青	3 回点滅 → 2 秒点灯	USB ポートに機器が接続されました。
	緑	点灯	ONU 機能のみが有効です。
⑨ 認証ランプ	—	消灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-3 ページ) を参照してください。)
	緑	点灯	正常な状態です。
⑩ UNI ランプ	—	消灯	内蔵の ONU 機能が利用できません。
	緑	点灯	内蔵の ONU 機能が利用できます。
		点滅	内蔵の ONU 機能でデータ通信中です。
⑪ 光回線ランプ	—	消灯	論理リンクダウン状態です。
	緑	点灯	正常な状態です。
	橙	点灯	装置運用準備中または装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-3 ページ) を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。※ 3
⑫ 電源ランプ	—	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
	赤	点灯	装置故障です。(「7 章 故障かな?と思ったら」(●7-3 ページ) を参照してください。)
		点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。※ 3
⑬ 映像出力ランプ	—	消灯	映像サービスが利用できません。
	緑	点灯	映像サービスが利用できます。
	赤	点灯	映像機能故障状態です。

【ポート名など】

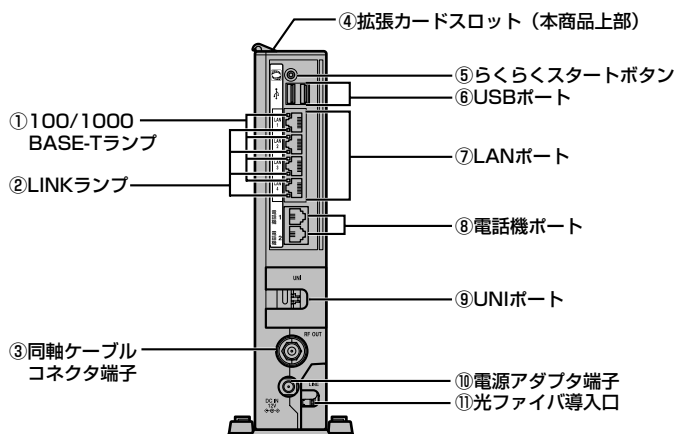
名称	表示	機能説明
⑭再起動スイッチ	再起動	本装置を再起動するときに使用します。
⑮初期化スイッチ	初期化	本装置内部の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。

- ※ 節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。
- ※ 1 ルータ機能のファームウェアの更新中（手動またはファイル指定）はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプ橙点灯します。（本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。）
- ※ 2 本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定、電話機からのファームウェア更新を行うと、初期状態ランプは消灯します。ひかり電話ご利用時は、初期状態ランプは消灯します。
- ※ 3 ONU 機能のファームウェアのダウンロードに関しては、お客様に操作いただくことはありません。

【「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

●背面図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)		状態
① 100/1000 BASE-T ランプ (4 個)	—	消灯	—
	橙	点灯	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ (4 個)	—	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 同軸ケーブルコネクタ端子	RF OUT	映像サービスをご契約の場合は同軸ケーブルが接続されます。
④ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (SC-40NE) を装着します。 (●5-4 ページ)
⑤ らくらくスタートボタン	らくらくスタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑥ USB ポート	—	USB 機器を接続するためのポートです。
⑦ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブル (付属品など) を使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑧ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。(電話機コードは付属していません。)
⑨ UNI ポート	UNI	通常はお客様によるケーブル接続は必要ありません。本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑩ 電源アダプタ端子	DC IN	付属の電源アダプタのコードを差し込みます。
⑪ 光ファイバ導入口	LINE	本商品と接続する光ファイバを導入する導入口です。お客様は光ファイバ導入部分に触れないでください。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

● LAN ポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（1000BASE-T または 100BASE-TX）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、1000BASE-T/100BASE-TX 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書などにしたがって正しく行ってください。

● ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたまましていると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

● 無線 LAN をご利用になるには

本商品に装着する無線 LAN カードとして SC-40NE が必要です。

パソコンに装着する無線 LAN カードとして SC-32KI または SC-32HI、SC-32NE、SC-32SE が必要です。

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

● 本商品は下記の OS に対応しています。（2011 年 2 月現在）

・ 本商品の LAN ポートに接続する場合

Windows® 7、Windows Vista®（SP1）、Windows Vista®（SP2）、Windows® XP（SP3）および Macintosh（Mac OS X）

・ 本商品とパソコンに専用無線 LAN カードを装着して接続する場合

Windows® 7、Windows Vista®（SP1）、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版

本書では、Web ブラウザでの設定方法を説明します。

Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。(2011年2月現在)

Windows® 7 の場合

- ・ Internet Explorer® 8.0 に対応

Windows Vista® (SP1) および Windows Vista® (SP2) の場合

- ・ Internet Explorer® 7.0 以上に対応

Windows® XP (SP3) の場合

- ・ Internet Explorer® 6.0 SP2 以上に対応

Mac OS X の場合

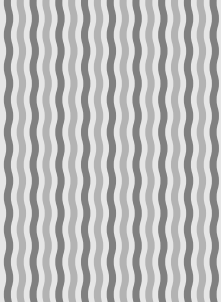
- ・ Safari 4.0.5 以上に対応

※各 OS に準拠したブラウザをご利用ください。

※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

※本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略として使用しています。

- Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。(☛4-5 ページ)
 - お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript」を有効にしてください。
(Windows® の場合 ☛4-6 ページ、Mac OS の場合 ☛8-6 ページ)
 - ダイアルアップの設定がある場合は、パソコンの【インターネットオプション】の【接続】で【ダイヤルしない】を選択してください。(☛4-5 ページ)
 - お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行ったときに、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
 - Web ブラウザの「戻る」、「進む」、「更新」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。
 - Mac OS で Safari をご利用の場合、「テキストのみ拡大／縮小」にチェックを入れないと正しく表示ができないことがあります。
- ※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。



2

本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

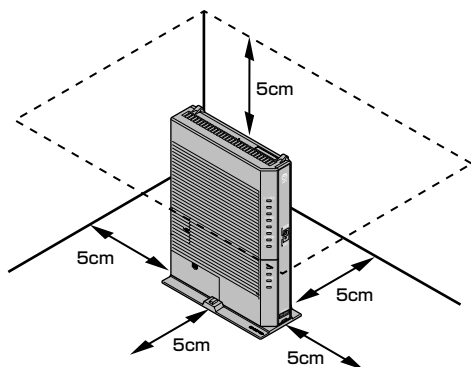
2

2-1 設置・接続2-2

2-1 設置・接続

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



⚠ 注意

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTVなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて縦置きにする

図のように、本商品本体に付属の縦置き／壁掛け兼用スタンドを付けて縦置きでご使用ください。

※はめ込み部の数や形状は、イラストと異なる場合があります。



⚠ 注意

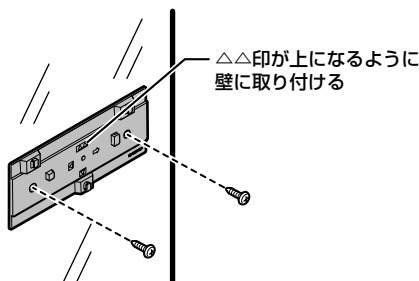
本商品は横置きでの使用はできません。

スタンドを用いて壁掛けにする

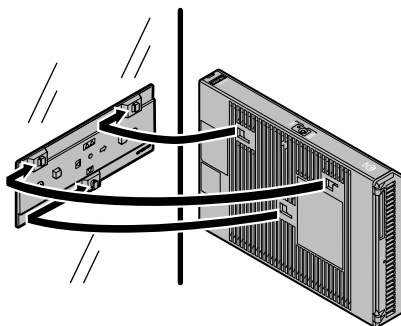
■縦置き／壁掛け兼用スタンドを取り付けて壁掛けにする場合

あらかじめ、縦置き／壁掛け兼用スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

- ① 付属の縦置き／壁掛け兼用スタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。



- ② 本商品を横にスライドさせて固定させます。この時、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



STOP

お願い

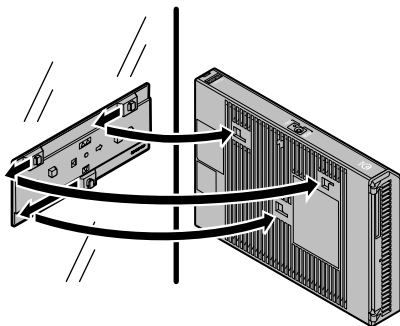
- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。(➡2-2 ページ)
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う場合には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 無線 LAN をご利用になるときは、壁に本商品を取り付ける前に無線 LAN カードを装着してください。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコインなどの小さな物を置かないでください。重みで拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

2

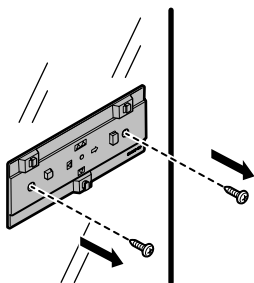
本商品を設置する

■取り外しかた

- ① 本商品をスライドして取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



- ② 付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属の縦置き／壁掛け兼用スタンドを取り外します。



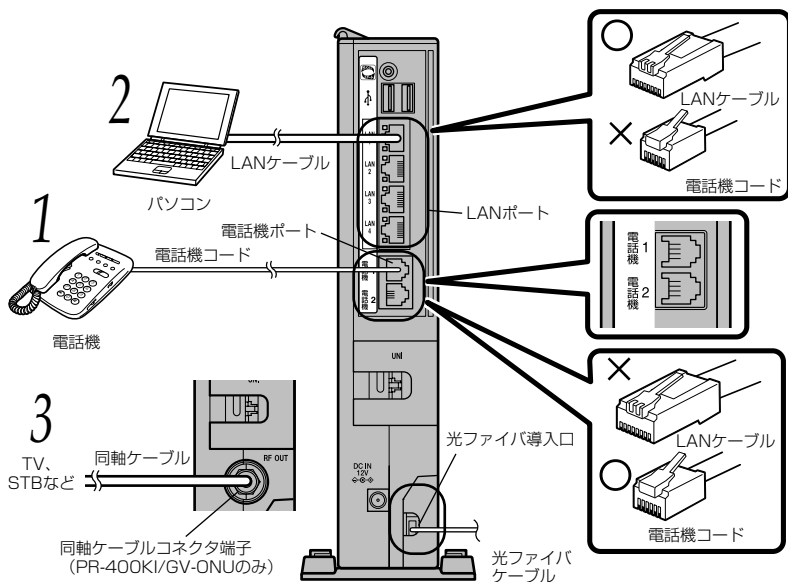
回線に接続する

以下の手順で接続します。

1

電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を、電話機に接続されている電話機コードで接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。



2

本商品を設置する



警告

光ファイバ導入部分の接続は当社で行いますので、お客様側での接続は不要です。故障の原因となる場合がありますので、光ファイバ導入部分はお手を触れないようにお願いします。

2

パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンを、LANケーブルで接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

3

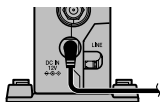
TVやSTBを接続する（PR-400KI/GV-ONUの場合のみ）

本商品の同軸ケーブルコネクタ端子とTVやSTBを接続します。

（次ページに続く）

4

電源アダプタのコードを接続する



このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。



警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5

電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6

ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。

電話機が使えることを確認してください。（「3-1 ひかり電話の使いかた」（☛3-2 ページ））

※ひかり電話サービスのご契約がお済みでない場合はひかり電話ランプは消灯のままとなります。



最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。

（詳しくは「6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛6-3 ページ）を参照してください。）



お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「㊤」または「㊦」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などのご利用できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続した LAN ポートの LINK ランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面のルータ電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACT ランプ、登録ランプ、認証ランプ、UNI ランプ、光回線ランプ、電源ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
ランプの状態が異なる場合は、本書の「7 章 故障かな？と思ったら」（☛7-1 ページ）をご覧ください。

3

ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※本章にてご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

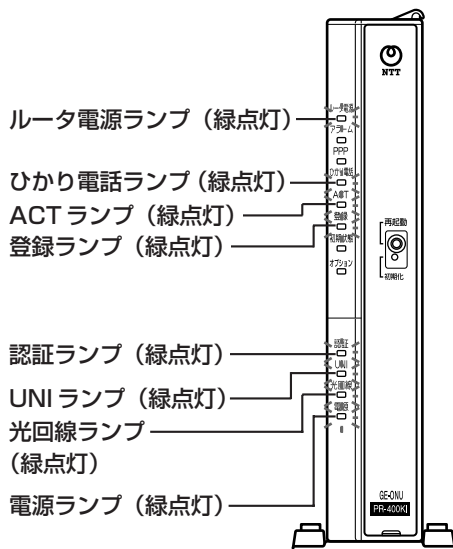
3

- 3-1 ひかり電話の使いかた3-2
- 3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する3-6
- 3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた3-11
- 3-4 パソコンからひかり電話の設定をする ...3-18
- 3-5 電話機からひかり電話の設定をする3-27
- 3-6 複数の電話機での同時着信や
使い分けを設定する3-33

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようにになっていることを確認してください。



映像出力ランプはPR-400KI/
GV-ONU の場合のみにあります。
また、映像出力ランプの点灯状態
はひかり電話のご利用には影響し
ません。



注意

本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

※節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

電話のかけかた

- ①本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認します。
- ②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ③相手の電話番号をダイヤルします。
通常どおり電話番号をダイヤルすると発信します。
- ④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順③で相手の方の電話番号をダイヤルしたあとに、**ⓧ**、指定着信番号（最大 19 桁）をダイヤルします。

〈例〉 03 〇〇〇〇 〇〇〇〇 **ⓧ** 1234

↑
電話番号

↑
指定着信番号

指定着信番号の設定方法については、「指定着信機能」(●3-16 ページ) を参照してください。

**お知らせ**

- 本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用できません。(「7章 故障かな?と思ったら」(7-4ページ)を参照してください。)
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。(設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。)
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル(ハンドセットを置いたままダイヤルする機能)を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルするときに正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「**Ⓢ**」(シャープ)を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や、番号に続けて「**Ⓢ**」(シャープ)を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて2秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 左記手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「**Ⓢ** **Ⓢ** **Ⓢ** **①** **①**」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。(詳しくは「6章 本商品のバージョンアップ」(6-1ページ)を参照してください。)

電話の受けかた

- ①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。
- ②通話が終わったらハンドセットを置きます。

**お知らせ**

- 「Web 設定」や電話機からの設定、ひかり電話に対応したIP端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音(着信中のナンバー・ディスプレイ表示など)、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えません。ひかり電話使用終了後、一定時間たってから設定を行ってください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

- ・ NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
- ・ IP 電話サービス（050IP 電話サービス）
- ・ 国際電話（世界約 200 の国と地域）
- ・ 他社の提供する OAB～J 電話サービス
- ・ 携帯電話、PHS

接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下のとおりです。（2011 年 2 月現在）

電話番号	サービス名など	接続可否	電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど ※1	○	121	クレジット通話サービス	×
0170	伝言ダイヤル	×	134	ダイヤルQ2パスワード	×
0180	テレゴング テレドーム／データドーム	×	135	特定番号通知機能	○
0190	エンジェルライン／あんないジョーズ	×	136	ナンバーアナウンス・ナンバーお知らせ136	×
0570	ナビダイヤル	○ ※2	141	でんわばん、二重番号サービス	×
0800	フリーアクセス／フリーダイヤルなど	○	142	ボイスワープ	○
0910	公専接続	×	144	迷惑電話おことわりサービス	○
0990	ダイヤルQ2	×	145	キャッチホンⅡ	×
	義援金募集番組	○ ※7	146	キャッチホンⅡ	×
010	国際通話 ※3	○	147	ボイスワープ	○
020	ポケベル	×	148	ナンバーリクエスト	○
050	IP 電話	○	149	DDX-TP	×
060	UPT（eコール）	×	151	メンバーズネット	×
070	PHS ※4	○	152	メンバーズネット	×
080	携帯電話	○	159	空いたらお知らせ159	×
090	携帯電話	○	161	ファクシミリ通信網	×
100	100番通話 ※5	×	162	ファクシミリ通信網	×
104	番号案内 ※6	○	163	DDX-TP	×
106	コレクトコール（コミュニケーション扱い） ※5	×	164	DDX-TP	×
108	自動コレクトコール ※5	×	165	メール送受信	×
110	警察（緊急通報）	○	166	ビデオテックス接続	×
113	故障受付	○	167	DDX-TP	×
114	お話し中調べ	×	169	DDX-TP	×
115	電報受付	○	171	災害用伝言ダイヤル	○
116	営業受付	○	177	天気予報	○
117	時報	○	178	オフワーク	×
118	海上保安（緊急通報）	○	184	発信者番号通知拒否	○
119	消防（緊急通報）	○	186	発信者番号通知	○

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容になっている場合、接続できません。

※2 NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容になっている場合、接続できません。

※3 国際フリーダイヤルなど（「010-800」で始まる番号）には接続できません。

※4 発信先（相手側）の PHS 端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。

※5 「100番通話（100）」、「コレクトコール（106・108）」は、着信もご利用いただけません。

※6 ひかり電話から発信した場合、DIAL104サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用いただけません。なお、加入電話・ISDNから発信して、DIAL104サービスにて案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。

※7 大規模災害発生時に株式会社テレビ朝日が提供する「テレビ朝日ドラえもん募金」、株式会社東京放送ホールディングスが提供する「JNN・JRN共同災害募金」をご利用いただけます。

* 「ドラえもん」は株式会社小学館集英社プロダクションの登録商標です。

* 「JNN」「JRN」は株式会社東京放送ホールディングスの登録商標です。

ひかり電話で以下の操作はできません

- ・ シャープダイヤル（＃＋4桁の番号サービス）への発信
- ・ 電気通信事業者を指定した発信（0036など番号の頭に「00XY」を付与する番号への発信）

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。

内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線 IP 電話機、LAN ポートに接続された IP 端末などを呼び出して、通話することができます。

- ①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の 1～2 桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 3-22 ページ、IP 端末 3-25 ページ）
- ③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線 IP 電話機、LAN ポートに接続された IP 端末などに取りつぎます。

- ①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
- ②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の 1～2 桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。（アナログ端末 3-22 ページ、IP 端末 3-25 ページ）
- ③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
- ④ハンドセットを置いて転送を実行します。

3

ひかり電話の使いかた



お知らせ

- 同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか 1 通話です。
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「**Ⓢ**」（シャープ）を押してください。
- 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
- フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。



- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1 お話中に「ププッ…」という割込音が聞こえる

2 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話しする

最初に話していた方には保留音が流れます。

4 通話終了後にハンドセットを置く

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。

※フッキングでも切り替えができます。

■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホンの動作をします。(注1)	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネル(●3-9ページ)の両方のご契約がある場合	2チャネルとも通話中のとき、上記のキャッチホン動作をします。(注1) なお、1チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。(注2)	呼び出し音が聞こえます。(注3)
ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がある場合	1チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。(注2)	呼び出し音が聞こえます。(注3)
キャッチホン、ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。(注4)	お話し中音が聞こえます。(注4)

(※1) 割込音通知は、パソコンまたは電話機から設定できます。

(パソコンから設定 ●3-23ページ、電話機から設定 ●3-30ページ)

(注1) キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定に関わらずキャッチホンの「ププッ…」という割込音が聞こえます。

(注2) 1チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

(注3) 1チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。

(注4) 内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「ププッ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

**お知らせ**

- キャッチホンをご利用いただくには、キャッチホンのご契約が必要です。
- ひかり電話をBフレッツでご利用の場合は、キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネルのサービスを同時にご契約いただくことはできません。
- キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
- フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。
- ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側にはお話し中音が聞こえます。
- ダブルチャネル／複数チャネルで割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。
別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

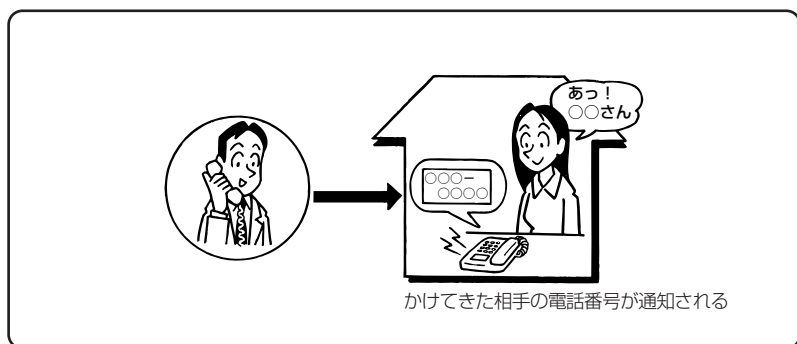
**フックスイッチ**

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。



●必要な設定

①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。

(パソコンから設定 ➡ 3-23 ページ、電話機から設定 ➡ 3-30 ページ)

※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。

②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。

③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

📶 お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、**ID**マーク、**dD**マーク、**ND**マークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

● ひかり電話ご契約時の内容

ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+ 相手先電話番号	186+ 相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない



お知らせ

- 指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

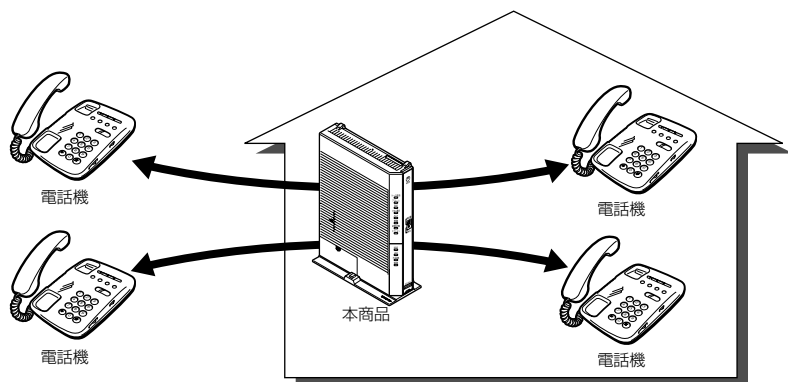
ダブルチャネル／複数チャネルを利用する

1 台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。

ご使用になるには事前にダブルチャネル／複数チャネルのご契約が必要となります。

※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

「■通話中の着信およびキャッチホンサービスについて」（●3-6 ページ）をご覧ください。



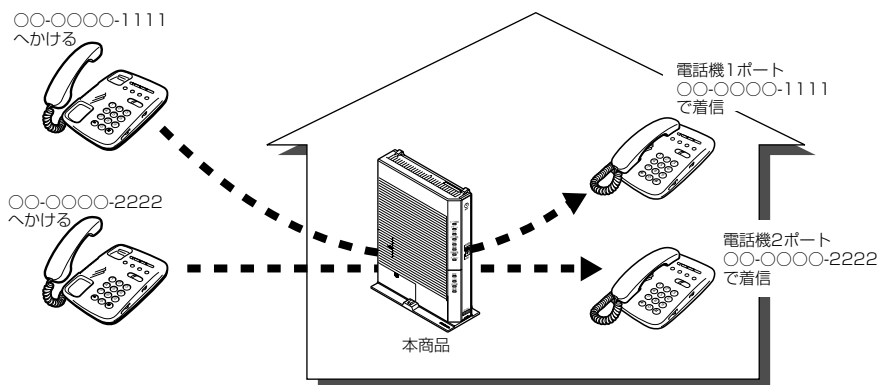
マイナンバー／追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前にマイナンバー／追加番号のご契約が必要となります。

※鳴り分けにはパソコンまたは電話機からの設定が必要です。

(パソコンから設定 ➡ 3-24 ページ、3-26 ページ、電話機から設定 ➡ 3-30 ページ)



3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた

内線番号設定

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次のとおり設定されています。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは「本商品の IP アドレス
[<http://192.168.1.1/>] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの【電話設定】－【内
線設定】を選択する
- ② 編集する内線番号の【編集】をクリックする
- ③ 【内線設定】画面で設定する
（アナログ端末 ●3-22 ページ、IP 端末 ●3-25 ページ）
設定は電話機からも行えます。（●3-31 ページ）



お知らせ

- 本商品に接続可能な端末は最大 7 台までですので、同時に使用できる内線番号は最大 7 つ
までです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

●確認方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは「本商品の IP アドレス
[<http://192.168.1.1/>] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの【電話設定】－【内
線設定】を選択する
- ② 編集する内線番号の【編集】をクリックする
- ③ 【内線設定】画面の【電話番号設定】で確認する
（アナログ端末 ●3-23 ページ、IP 端末 ●3-26 ページ）

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に、着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

あとからかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

	必要なご契約	必要な設定
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・キャッチホン	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する (パソコンから設定 ●3-23 ページ、電話機から設定 ●3-30 ページ)
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する (パソコンから設定 ●3-23 ページ、電話機から設定 ●3-30 ページ)
ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル ・キャッチホン	・割込音通知を「使用する」に設定する (パソコンから設定 ●3-23 ページ、電話機から設定 ●3-30 ページ)

※ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。

キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。



お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、**cid** マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

割込音通知

ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

●設定方法

- ① [Web 設定] ページ (<http://ntt.setup/>) もしくは [本商品の IP アドレス (<http://192.168.1.1/>) ※工場出荷時の場合)] を開き、メニューの [電話設定] - [内線設定] を選択する
 - ② 編集する内線番号の [編集] をクリックする
 - ③ [内線設定] 画面の [ひかり電話設定] - [割込音通知] で設定する
(アナログ端末 ●3-23 ページ)
- 設定は電話機からも行えます。(●3-30 ページ)



お知らせ

- アナログ端末のみで利用できる機能です。

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの「電話設定」－「内線設定」を選択する
- ②編集する内線番号の「編集」をクリックする
- ③「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信番号」で設定する
（アナログ端末 ●3-24 ページ、IP 端末 ●3-26 ページ）
設定は電話機からも行えます。（●3-30 ページ）

一斉着信

1 つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの「電話設定」－「内線設定」を選択する
- ②編集する内線番号の「編集」をクリックする
- ③「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信番号」で着信する電話番号にチェックする
（アナログ端末 ●3-24 ページ、IP 端末 ●3-26 ページ）
- ④着信させたいすべての内線番号について②、③を繰り返して同様に設定する
設定は電話機からも行えます。（●3-30 ページ）

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの「電話設定」－「内線設定」を選択する
- ②編集する内線番号の「編集」をクリックする
- ③「内線設定」画面の「電話番号設定」－「着信音選択」で着信音を選択する
（アナログ端末 ●3-24 ページ）
設定は電話機からも行えます。（●3-31 ページ）



お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは「本商品のIPアドレス [<http://192.168.1.1/>]
※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの「電話設定」－「内線設定」を選択する
- ② 編集する内線番号の「編集」をクリックする
- ③ 「内線設定」画面の「ひかり電話設定」－「モデムダイヤルイン」で設定する
（アナログ端末 ➡ 3-23 ページ）

設定は電話機からも行えます。（➡ 3-30 ページ）



お知らせ

- モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書などをご参照ください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

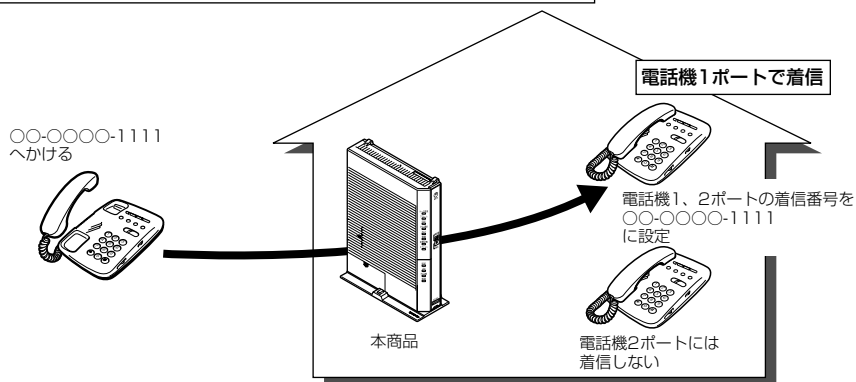
優先着信ポート

本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。

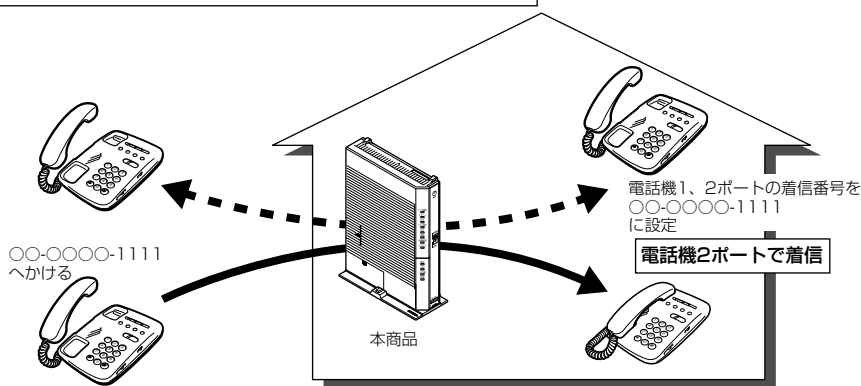
優先着信ポートをご利用になる場合、IP 端末はご利用になれません。

【電話機 1 ポートを優先着信ポートに設定した場合】

電話機1が通話（オフフック、電話機からの設定を含む）していない場合



電話機1が通話中（オフフック、電話機からの設定を含む）の場合



※ダブルチャネル／複数チャネルをご利用の場合、電話機1ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機2ポートにのみ着信します。

※キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機1ポートが通話中であっても電話機2ポートには着信しません。通話中の電話機1ポートにキャッチホンの「ブツッ・・・」という割込音が聞こえます。

●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは「本商品のIPアドレス
[<http://192.168.1.1/>」※工場出荷時の場合）を開き、メニューの「電話設定」－
「ひかり電話共通設定」を選択する
- ②「優先着信ポート」で優先する電話機ポートを選択する（☛3-19ページ）
設定は電話機からも行えます。（☛3-29ページ）

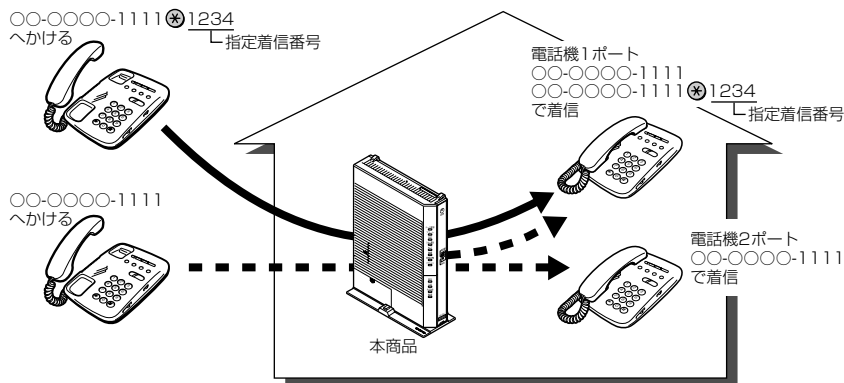


お知らせ

- 優先着信ポートを有効に設定した場合、電話機1、2ポートを無効に設定できません。電話機1、2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定する場合は、電話機1、2ポートで同一の着信番号を1つ以上設定している必要があります。電話機1、2ポートで同一の着信番号を設定しない場合、優先着信ポートの設定は無効になります。
- 電話機1、2ポートで同一の着信番号が1つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、IP端末はご利用になれません。IP端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- 優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を利用すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。



●設定方法

- ①「Web 設定」ページ（「<http://ntt.setup/>」もしくは「本商品の IP アドレス」
「<http://192.168.1.1/>」 ※工場出荷時の場合）を開き、メニューの【電話設定】－
【内線設定】を選択する
- ②編集する内線番号の【編集】をクリックする
- ③【内線設定】画面の【電話番号設定】で指定着信機能を使用する電話番号の【指定着信機能】－
【使用する】にチェックし、【指定着信番号】に使用する指定着信番号を入力する
（☛3-24 ページ）
- ④指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、【指定なし着信】にチェックする
設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）



お知らせ

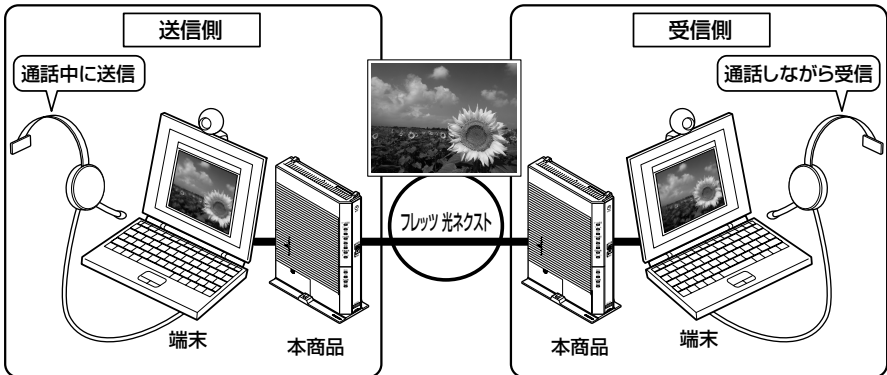
- アナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン（☛3-6 ページ）はご利用いただけません。
- マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は1つだけです。
- 指定着信番号は0～9の任意の数字で、最大19桁となります。
- 指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。
- ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線やNTT 東日本／NTT 西日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

通話中の相手先からのメディア変更機能

フレッツ 光ネクストのひかり電話同士で、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら専用の帯域を確保して、画像ファイルなど様々な形式のデータを送受信できるようになっています。(端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります。)

このお客様がひかり電話同士で通話中に、各種データ送受信を開始する処理のことを、「メディア変更」と呼びます。

本機能では、通話相手からメディア変更の要求を受けたときにそれを許容するか・許容しないかを設定することができます。また、メディア変更を許容しないに設定した場合でも、あらかじめ登録した電話番号は、メディア変更を許容するように設定できます。



●設定方法

- ①「Web 設定」ページ (<http://ntt.setup/>) もしくは「本商品の IP アドレス [<http://192.168.1.1/>]
※工場出荷時の場合)を開き、メニューの「電話設定」－「ひかり電話共通設定」を選択する
- ②「メディア変更」のプルダウンから、下記のいずれかを選択する
 - ・常に許容する：自分が発信者/着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます
 - ・発信時のみ許容しない：自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します
 - ・常に許容しない：自分が発信者/受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します
- ③「設定」をクリックする
- ④「メディア変更を許容する電話番号」の「編集」をクリックする
※手順②で「常に許容する」を選択している場合は、[編集]は使用できません。
- ⑤データの受信を許容する電話番号を設定する



お知らせ

- あらかじめ登録した電話番号に対するメディア変更を許容するためには、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。(➡3-8 ページ)
- 「メディア変更を許容する電話番号」に登録した電話番号からメディア変更機能をご利用になる場合は、発信者側の発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法は、ご利用になる機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。
- 設定方法詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

3-4 パソコンからひかり電話の設定をする

ひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品に接続されたパソコンの Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの【電話設定】－【ひかり電話共通設定】、または【内線設定】から行います。

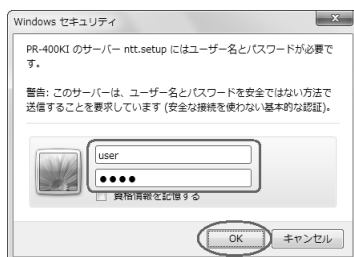
ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

※はじめて本商品の「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開いた場合は、本商品の初期設定を行ってください。（☛4-8 ページ）

■【ひかり電話共通設定】画面で設定する

1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」を入力し、「Web 設定」ページを開く

2 ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-3 本商品の設定をする」（☛4-8 ページ）手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力し【OK】をクリックする



ユーザー名、パスワードが間違っていた場合は認証エラー画面が表示されます。[トップページへ] をクリックして再度入力してください。

※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

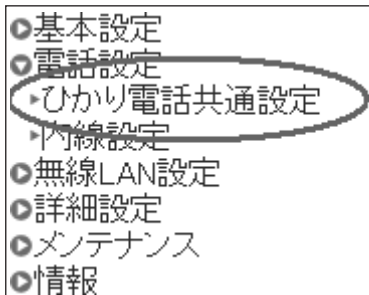
認証エラー

認証に失敗しました。
ユーザー名とパスワードを確認してください。

[現在のバージョン]
現在のファームウェアバージョン

[アップデート設定]
ファームウェア更新種別

3 メニューの【電話設定】－【ひかり電話共通設定】を選択する



【ひかり電話共通設定】画面で設定する

ひかり電話共通設定

ヘルプ?

トップページ > 電話設定 > ひかり電話共通設定

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

[ひかり電話設定]
 音質優先モード ① なし
 優先着信ポート ② 無効

[拡張設定]
 PING応答機能 ③ ☒ 使用する

[通話中の相手先からのメディア変更設定]
 メディア変更 ④ 常に許容する
 メディア変更を許可する電話番号 ⑤ 編集

設定

【ひかり電話設定】

① 音質優先モード

インターネットとひかり電話を同時にご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。

※音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

- ・「なし」 音声優先制御を行いません。
 - ・「優先」 音声パケットを優先処理します。
 - ・「最優先」 音声パケットを最優先で処理します。
- (初期値：なし)

② 優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

- ・[アナログ端末 (電話機 1)] 電話機 1 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・[アナログ端末 (電話機 2)] 電話機 2 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・「無効」 優先着信を行いません。

(初期値：無効)

※優先着信ポートを設定する場合は「内線設定」画面で次の設定が必要です。

- ・[電話設定] - [内線設定] の「アナログ端末 (電話機 1)」と「アナログ端末 (電話機 2)」の「利用有無」にチェックしてください。(☛3-21 ページ)
- ・[電話設定] - [内線設定] で [IPphone1] ~ [IPphone5] の「利用有無」のチェックをすべて外してください。(☛3-21 ページ)
- ・[電話設定] - [内線設定] で「アナログ端末 (電話機 1)」, 「アナログ端末 (電話機 2)」に同一の着信番号を 1 つ以上選択し、「割込音通知」を「使用しない」に設定してください。(☛3-23 ページ)

【拡張設定】

③ PING 応答機能

ひかり電話網からの PING に応答する機能を使用する場合にチェックします。

(初期値：使用する)

【通話中の相手先からのメディア変更設定】

※B フレッツをご利用の場合、「通話中の相手先からのメディア変更設定」は表示されない場合があります。

④メディア変更

通話中の相手からのデータ受信の可否を選択します。

・常に許容する：

自分が発信者/着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます

・発信時のみ許容しない：

自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します

・常に許容しない：

自分が発信者/受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します

※選択後、[設定] をクリックしてください。

(初期値：常に許容する)

⑤メディア変更を許容する電話番号

データの受信を許容する電話番号を設定します。

※[メディア変更] を [常に許容する] に設定している場合は設定ができません。

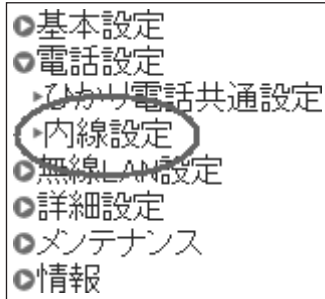
5

【設定】 をクリックする

■ [内線設定] 画面で設定する

1

「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開き、メニューの「電話設定」－「内線設定」を選択する



2

編集する内線番号の「編集」をクリックする

内線設定 ヘルプ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

電話の設定を行います。

【内線番号一覧】

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	IPバージョン	編集	削除
☒	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	-	-	-	編集	-
☒	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-	-	編集	-
☒	3	IPPhone1	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
☒	4	IPPhone2	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
☒	5	IPPhone3	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
☒	6	IPPhone4	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
☒	7	IPPhone5	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除

設定

内線番号を有効にするには、[内線設定] 画面で使用する内線番号の「利用有無」にチェックして、[設定] をクリックします。同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

※初期値は下記の内線番号でアナログ端末／IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。内線番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1 ～ 2	アナログ端末
3 ～ 7	IP 端末

<「アナログ端末」の内線番号を選択した場合>

[内線設定 (アナログ端末)] の編集画面で、編集・設定します。(●3-22 ページ)

<「IP 端末」の内線番号を選択した場合>

[内線設定 (IP 端末)] の編集画面で、編集・設定します。(●3-25 ページ)

(次ページに続く) 3-21

【内線設定】画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、☛3-21 ページ～☛3-26 ページの手順2～手順5を繰り返して設定してください。

内線設定(アナログ端末1)

ヘルプ?

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末1)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

【内線設定】

内線番号

ニックネーム

【ひかり電話設定】

ナンバーディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

【電話番号設定】

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
①	②	☒	☐		☐	R ▾
③	④	☐	☐		☐	R ▾
⑤	⑥	☐	☐		☐	R ▾
⑦	⑧	☒	☐		☐	R ▾
⑨	⑩	☒	☐		☐	R ▾
内線	-	-	-	-	-	SR ▾

設定 戻る

【内線設定】

①内線番号

内線番号を入力します。

「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。

※重複した内線番号は設定できません。

（初期値：下記の表を参照）

②ニックネーム

ニックネームを入力します。

任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、半角英数字および記号（「空白」「;」（セミコロン）」「"」（ダブルクォーテーション）」を除く）で設定します。

最大64文字まで入力できます。

（初期値：下記の表を参照）

<初期値>

内線番号	ニックネーム
1	TEL1
2	TEL2

【ひかり電話設定】

- ③ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。
(ナンバー・ディスプレイについては ● 3-8 ページ)
(初期値：使用する)
※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用する」のチェックを外してください。
- ④キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイを使用する場合にチェックします。
ナンバー・ディスプレイを「使用する」に設定している場合のみ設定できます。
(キャッチホン・ディスプレイについては ● 3-12 ページ)
(初期値：使用しない)
- ⑤モデムダイヤルライン モデムダイヤルラインを使用する場合にチェックします。
(初期値：使用しない)
- ⑥割込音通知 ダブルチャンネル／複数チャンネルでのお話し中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込音を使用する場合にチェックします。
(ダブルチャンネル／複数チャンネルについては ● 3-9 ページ)
(初期値：使用する)
- ⑦ダイヤル桁間タイマ (秒) 電話機からのダイヤルを受付する間隔を設定します。
設定できる値は「4～8」(秒)です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行ったときに発信するまでの時間が長くなります。
(初期値：4 秒)
- ⑧エコー・キャンセラ エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。
(初期値：使用する)

【電話番号設定】

- ⑨電話番号 ご契約された電話番号（外線）が表示されます。
- ⑩通知番号 発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。
※ 「通知番号」に設定した電話番号は「着信番号」に設定されます。
※ 「通知番号」に設定した電話番号に「指定着信機能」を設定しても相手先に「指定着信番号」は通知されません。
(初期値：契約者回線番号)

(次ページに続く)

⑪着信番号

各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。

(初期値：すべての電話番号)

⑫指定着信機能

指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の〔使用する〕にチェックし、〔指定着信番号〕に使用する指定着信番号を入力します。(1～19桁の数字を入力してください。)

指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は〔指定なし着信〕にチェックします。

※指定着信機能は電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん〔使用する〕のチェックを外してください。

(初期値：使用しない)

⑬着信音選択

電話番号ごとに着信音を設定できます。〔IR〕〔SIR〕から選択します。

・〔IR〕

着信音が「1 秒あり＋2 秒なし」を繰り返します。
(「プルルルー、プルルルー・・・」と鳴動します。)

・〔SIR〕

着信音が「0.3 秒あり＋0.3 秒なし＋0.3 秒あり＋2.1 秒なし」を繰り返します。

(「プルルッ、プルルッ・・・」と鳴動します。)

(初期値：外線用〔IR〕、内線用〔SIR〕)



お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- 着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

【内線設定 (IP 端末)】

※複数の内線番号を編集する場合は、☛3-21 ページ～☛3-26 ページの手順2～手順5を繰り返して設定してください。

ヘルプ?

内線設定 (IP 端末1)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(IP端末1)

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。

内線設定(IP端末)の設定を行います。

【内線設定】

内線番号 ①

ニックネーム ②

端末属性 通常端末 ③

MACアドレス ④

ダイジェスト認証 行う ⑤

ユーザID ⑥

パスワード ⑦

【電話番号設定】

電話番号	通知番号	着信番号
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☒
☐	☐	☒

設定
戻る

①内線番号

内線番号を入力します。
「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
(初期値：次ページの表を参照)

②ニックネーム

ニックネームを入力します。
任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、半角英数字および記号(「空白」「; (セミコロン)」「" (ダブルクォーテーション)」を除く)で設定します。
最大64文字まで入力できます。
(初期値：次ページの表を参照)

③端末属性

端末属性を「音声専用端末」、「通常端末」から選択します。
※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。
(初期値：通常端末)

④MACアドレス

IP 端末の MAC アドレスを入力します。
(初期値：空欄)

⑤ダイジェスト認証

IP 端末とのダイジェスト認証を行うかどうか選択します。
(初期値：行う)

⑥ユーザ ID

任意のユーザ ID を入力します。

使用できるのは、半角英数字で最大 32 文字です。

※ここで設定したユーザ ID と同じユーザ ID を、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。IP 端末によっては、空欄に設定する場合もあります。

(初期値：下記の表を参照)

⑦パスワード

任意のパスワードを入力します。

使用できるのは、半角英数字で最大 32 文字です。

※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。ユーザ ID が空欄の場合は、パスワードは不要です。

(初期値：自動生成 (半角 8 桁))

<初期値>

内線番号	ニックネーム	ユーザ ID
3	IPphone1	0003
4	IPphone2	0004
5	IPphone3	0005
6	IPphone4	0006
7	IPphone5	0007

【電話番号設定】

⑧電話番号

ご契約された電話番号 (外線) が表示されます。

⑨通知番号

発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。

※ [通知番号] に設定した電話番号は [着信番号] に設定されます。

(初期値：契約者回線番号)

⑩着信番号

各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。

(初期値：すべての電話番号)

4 【設定】をクリックする

5 【戻る】をクリックする

6 設定した内線番号にチェックして【設定】をクリックする

※最大 7 つの番号までチェックできます。



お知らせ

- 本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。

電話機からひかり電話の設定をするには

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。

■設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。それぞれの機能を設定する際には「■設定一覧」(☛3-29 ページ)を参照してください。

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する



2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目	
☓ ☓ ☓ ⑨ ①	ひかり電話共通設定
☓ ☓ ☓ ⑨ ⑨	内線設定 (アナログ端末)

➡ 手順 4 に進む

➡ 手順 3 に進む

3 設定項目が「内線設定 (アナログ端末)」の場合は、「ポート番号」を押す
設定項目が「ひかり電話共通設定」の場合は、手順 4 に進みます。

ポート番号	
①	電話機 1
②	電話機 2

4 「☓ 機能番号 ☓ 設定値 ☓」と押す

機能番号 (例)		設定値 (例)	
⑨ ①	ナンバー・ディスプレイ設定	①	使用する
		②	使用しない

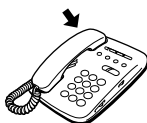
※同じ設定項目で複数の設定を行う場合は、手順 3 に戻って設定します。

※機能番号と設定値については、「■設定一覧」(☛3-29 ページ)を参照してください。

5 すべての設定が終わったら、「☓」と押す

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

6 ハンドセットを置く



〈設定例：電話機 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する



2 電話機のダイヤルボタンを 「[*][*][*][9][9][1][*][9][1][*][2][#][#]」と押す



「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

3 ハンドセットを置く



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や、中止した場合は、設定が無効になります。はじめから設定をやり直してください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

■設定一覧

電話機から設定できるひかり電話の設定は次のとおりです。

設定手順（☛3-27ページ）を参考に、左から順に操作します。

※ダイヤルボタンを押す間隔が30秒以上あくと、設定が中止されます。

【ひかり電話共通設定】（※※※⑨⑩）

※下線 ____ は、初期値です。

機能番号	開始操作	機能番号	設定値・設定内容	終了操作
00	音質優先モード (●3-19ページ)  * * * 9 0 * 0 0 *	①: なし ②: 優先 ③: 最優先	## 	
01	優先着信ポート (●3-14ページ) ※ 1 ※ 2  * * * 9 0 * 0 1 *	①: アナログ端末 (電話機 1) ②: アナログ端末 (電話機 2) ③: 無効	## 	
02	アナログポート無効化  * * * 9 0 * 0 2 *	①: 設定操作側と反対 の電話機ポートを 無効化 ②: 電話機 1、2 ポー ト有効	## 	

※無効に設定する場合は、電話機 1 ポートから操作すると、電話機 2 ポートが無効に設定されます。電話機 2 ポートから操作すると、電話機 1 ポートが無効に設定されます。
※有効に設定する場合は、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートのどちらから操作しても、両方の電話機ポートが有効に設定されます。

※1 設定する場合は、3-31ページの「お知らせ」を参照してください。

※2 優先着信ポートとアナログポート無効化は連続して設定できません。

【内線設定（アナログ端末）】（※※※※※※※※）

●「内線設定（アナログ端末）」では、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートごとに設定が必要です。

電話機 1 ポートの設定→ポート番号 ① を押す

電話機 2 ポートの設定→ポート番号 ② を押す

※下線 ____ は、初期値です。

機能番号	開始操作	ポート番号 ※	機能番号 ※	設定値・設定内容	終了操作
	ナンバー・ディスプレイ（☛3-8 ページ）				
91	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ① ※ ※ 99 ② ※	①：使用する ②：使用しない	☎☎ 
	モデムダイヤルイン（☛3-14 ページ）				
92	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ② ※	①：使用する ②：使用しない	☎☎ 
	割込音通知（☛3-12 ページ）※ 1				
93	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ③ ※	①：使用する ②：使用しない	☎☎ 
	着信番号（☛3-24 ページ）※ 1				
94	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ④ ※	（着信番号）	☎☎ 
	※複数の電話番号のうち、着信番号を1つの電話番号（通知番号）に設定する場合は、通知番号の設定を先に行ってください。 ※複数の番号を設定する場合は、「※（着信番号）」を繰り返して設定します。 3-32 ページの「お知らせ」を参照してください。				
	指定着信機能（☛3-16 ページ）※ 1				
95	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ⑤ ※	（着信番号）※（指定着信番号）	☎☎ 
	キャッチホン・ディスプレイ（☛3-12 ページ）※ 2				
96	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ⑥ ※	①：使用する ②：使用しない	☎☎ 
	ダイヤル桁間タイマ（☛3-23 ページ）				
97	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ⑦ ※	④：4 秒 ⑤：5 秒 ⑥：6 秒 ⑦：7 秒 ⑧：8 秒	☎☎ 
	エコー・キャンセラ（☛3-23 ページ）				
98	 ※※※※99	① または ②	※ 99 ⑧ ※	①：使用する ②：使用しない	☎☎ 

機能番号	開始操作	ポート番号 ④	機能番号 ④	設定値・設定内容	終了操作
00	通知番号 (☛3-23 ページ) ※ 3				
		① * * * 9 9 または ② * 0 0 *		(通知番号)	## 
01	内線番号 (☛3-11 ページ) ※ 4				
		① * * * 9 9 または ② * 0 1 *		(内線番号)	## 
	※初期値は、電話機 1 ポート：1、電話機 2 ポート：2 です。				
02	着信音選択 (☛3-24 ページ)				
		① * * * 9 9 または ② * 0 2 *		(着信番号) * ① : IR ② : SIR	## 
	※初期値は、外線用：IR、内線用：SIR です。				

- ※ 1 設定する場合は、3-31 ページの「お知らせ」を参照してください。
 ※ 2 ナンバー・ディスプレイが「使用する」に設定されている場合に設定できます。
 ※ 3 通知番号に設定した電話番号は、着信番号に設定されます。
 ※ 4 内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。(初期値：1～7)



お知らせ

●優先着信ポート

- 優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。
電話機 1、2 ポート：「内線番号」が「有効」に設定されます。
「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。

すべての IP 端末：「内線番号」が「無効」に設定されます。

- 次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。

- 電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が設定されていない場合
- 電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

●アナログポート無効化

優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

電話機 1、2 ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。アナログポート無効化とあわせて他の設定を一度行った場合は、他の設定もやり直してください。

●割込音通知

優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。

(次ページに続く) 3-31

●着信番号

- ・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号以外は、着信しない設定になります。

＜複数の電話番号を着信番号として設定するには＞

複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「（着信番号）」を繰り返して設定してください。

（例）電話機 1 ポートに着信番号「03 0000 1111」「03 0000 2222」を設定する場合



   9 9 1  9 4  03 0000 1111

 03 0000 2222  



- ・着信番号を設定する電話機ポートに指定着信番号が設定されている場合、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。
- ・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった
（例：ダイヤルボタンを「   9 9 1（または 2） 9 4   」と押した）場合は、通知番号に指定された電話番号以外は着信しない設定になります。

●指定着信機能

- ・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。
- ・指定着信番号は、電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。
- ・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。
- ・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。

①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、優先着信ポートが設定されている場合

②着信番号に設定していない電話番号を指定着信番号に設定した場合

- ・指定着信の設定で指定着信番号を設定しなかった

（例：ダイヤルボタンを「   9 9 1（または 2） 9 5 （着信番号）  」と押した）場合は、指定着信番号は消去され、指定着信番号は「使用しない」に設定されます。

複数の電話機での同時着信や 使い分けを設定する

ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。

ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。

設定はパソコンまたは電話機から行います。

設定例を確認後、それぞれの設定方法を参照してください。

●パソコンから設定する場合

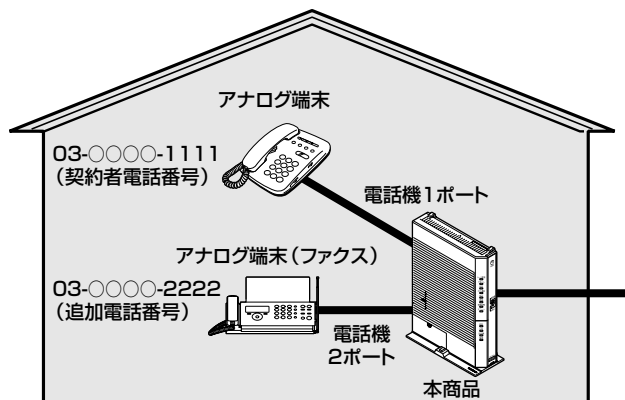
「Web 設定」ページメニューの「電話設定」－「内線設定」[内線設定（アナログ端末 1）]／[内線設定（アナログ端末 2）] で「通知番号」[着信番号] [着信音選択] を設定します。「3-4 パソコンからひかり電話の設定をする」(☛3-18 ページ) を参照してください。

●電話機から設定する場合

「3-5 電話機からひかり電話の設定をする」(☛3-27 ページ) を参照してください。

ファクスと電話で使い分けたいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

●マイナンバー／追加番号（2 番号）

●ダブルチャンネル／複数チャンネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

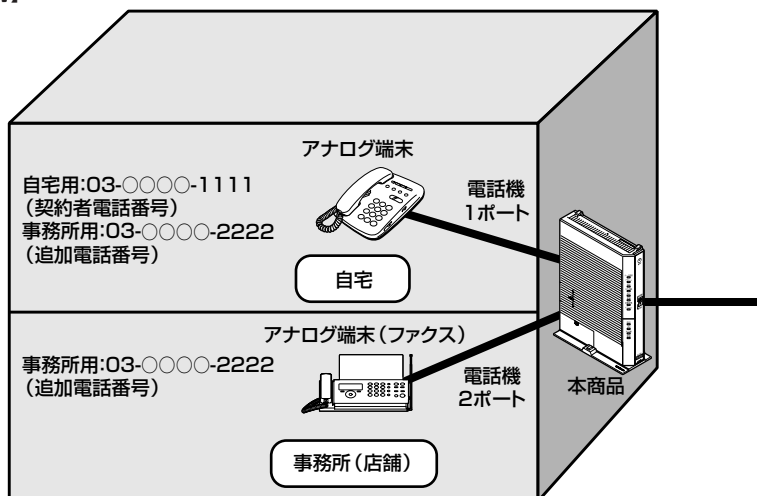
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	☒ 通知する	☒ 着信する	IR
03-0000-2222	☐ 通知しない	☐ 着信しない	—

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	☐ 通知しない	☐ 着信しない	—
03-0000-2222	☒ 通知する	☒ 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

●マイナンバー／追加番号（2 番号）

●ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	◎ 通知する	☒ 着信する	IR
03-0000-2222	○ 通知しない	☒ 着信する	SIR

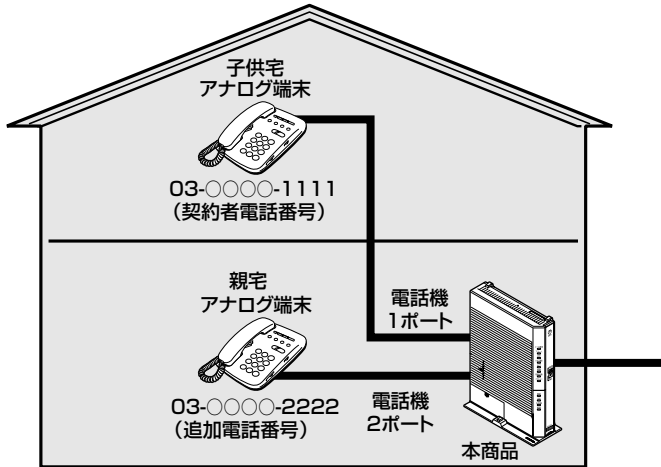
アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	—
03-0000-2222	◎ 通知する	☒ 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

2世帯で電話を鳴り分けて使うには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

- マイナンバー／追加番号（2 番号）
 - ダブルチャネル／複数チャネル
- ※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	◎ 通知する	☒ 着信する	IR
03-0000-2222	○ 通知しない	☒ 着信する	SIR

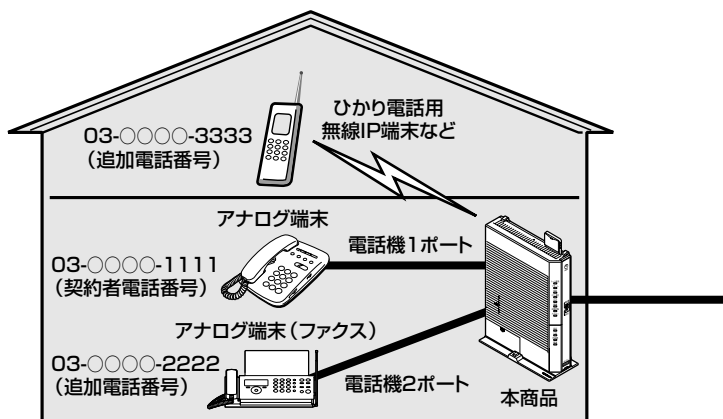
アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	○ 通知しない	☒ 着信する	SIR
03-0000-2222	◎ 通知する	☒ 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

ひかり電話用無線 IP 端末などを利用したいときには

【利用例】



【ひかり電話の付加サービスの利用】

●マイナンバー／追加番号（3 番号）

●ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に2回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	◎ 通知する	☒ 着信する	IR
03-0000-2222	○ 通知しない	☐ 着信しない	—
03-0000-3333	○ 通知しない	☐ 着信しない	—

アナログ端末（電話機2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	—
03-0000-2222	◎ 通知する	☒ 着信する	IR
03-0000-3333	○ 通知しない	☐ 着信しない	—

IP 端末 1

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-0000-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	—
03-0000-2222	○ 通知しない	☐ 着信しない	—
03-0000-3333	◎ 通知する	☒ 着信する	—

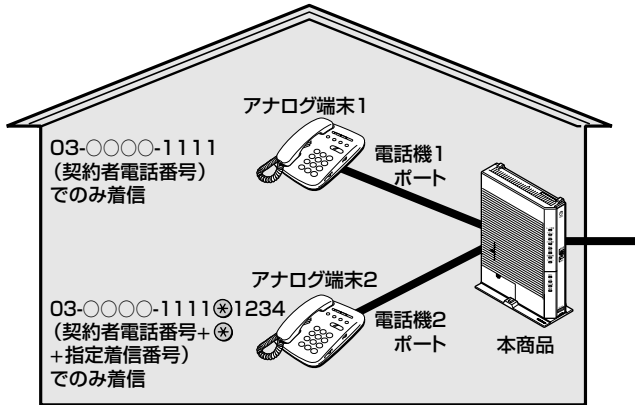
※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。

※ IP 端末の設定は電話機からは行えません。パソコンから設定してください。

指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに着信させたいときには

【利用例】

「03-0000-1111」でかかってきた場合は、アナログ電話機1のみ着信させる。
 「03-0000-1111 *1234」でかかってきた場合は、アナログ電話機2のみ着信させる。



【設定例】

アナログ端末（電話機1）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定なし着信	着信音選択
03-0000-1111	◎ 通知する	☒ 着信する	☐ 使用しない	—	—	IR

アナログ端末（電話機2）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能	指定着信番号	指定なし着信	着信音選択
03-0000-1111	◎ 通知する	☒ 着信する	☒ 使用する	1234	☐ 着信しない	IR

※「Web 設定」ページの「電話設定」－「内線設定」の「アナログ端末（電話機1）」／「アナログ端末（電話機2）」画面で「電話番号設定」の「指定着信機能」にチェックし、「指定着信番号」に「1234」（指定着信番号）を入力します。
 指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は「指定なし着信」にチェックします。



お知らせ

- アナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンをご利用いただけません。
- ガスの遠隔検針などでご利用いただけます。

4

インターネット 接続の設定をする

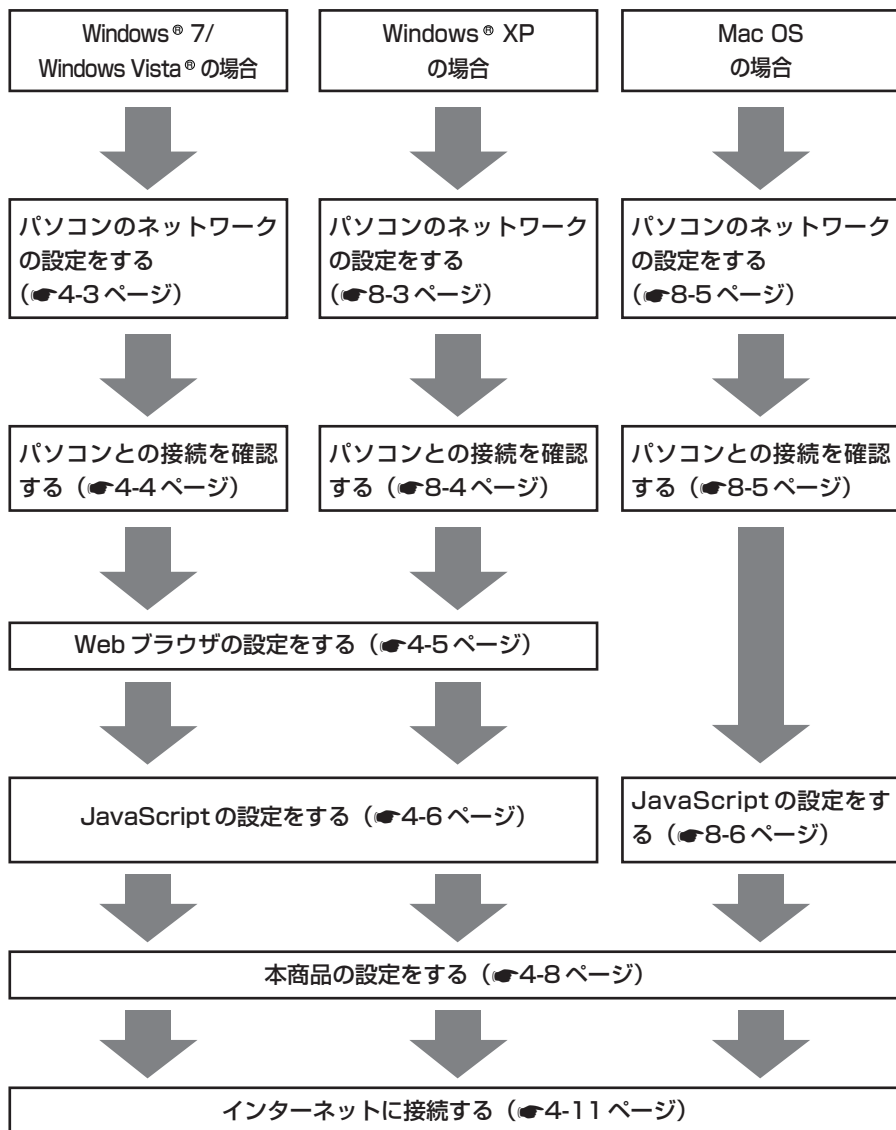
この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

- 4-1 設定の流れ4-2
- 4-2 パソコンのネットワーク設定
(Windows® 7/Windows Vista®)4-3
- 4-3 本商品の設定をする4-8
- 4-4 インターネットに接続する4-11
- 4-5 フレッツ・スクウェアに接続する4-12

※本章に記載しております「インターネット接続の設定（プロバイダの資料にしたがった設定）」はインターネット（IPv4）接続に関する案内となります。

4-1 設定の流れ

本商品のインターネット接続は次の手順で行います。
パソコンの OS によってそれぞれのページを参照して行ってください。



パソコンのネットワーク設定 (Windows® 7/Windows Vista®)

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。

パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。

「4-3 本商品の設定をする」(▶4-8 ページ) へお進みください。

パソコンのネットワークの設定をする (Windows® 7/Windows Vista®)

Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークと共有センター] をクリックする

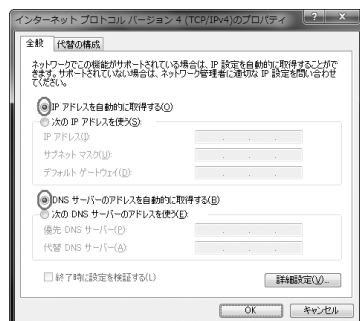
3 [アダプターの設定の変更] または [タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする

4 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

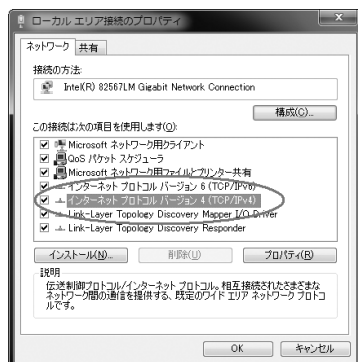
6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] または [閉じる] をクリックする

4 インターネット接続の設定をする



お知らせ

●本書では、Windows® 7/Windows Vista® の通常表示モード (コントロールパネルホーム) を前提に記載しています。

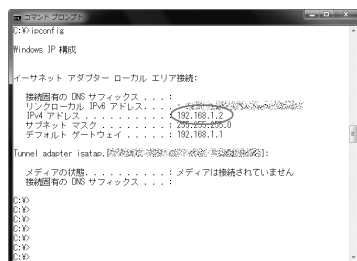
パソコンとの接続を確認する (Windows® 7/Windows Vista®)

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの【スタート】(Windows® のロゴボタン) – 【すべてのプログラム】 – 【アクセサリ】 – 【コマンドプロンプト】を実行する

3 【コマンドプロンプト】の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」または「ipconfig」と入力し、【Enter】キーを押す

4 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続:」が表示され、IPv4 アドレスが [192.168.1.xxx] になっていることを確認する (xxx は 2～254 の数字です)



5 「exit」と入力し、【Enter】キーを押す

Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

以下は、Windows® 7で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

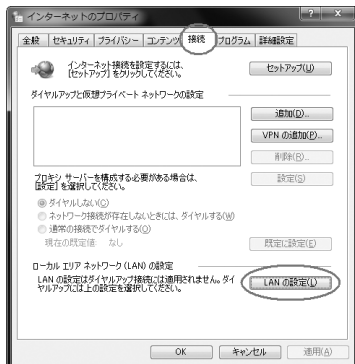
2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® XP の場合

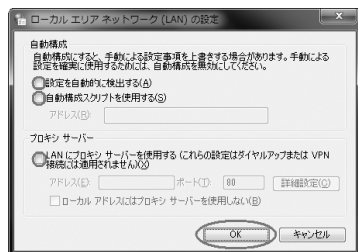
[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する

4 [LAN の設定] をクリックする



5 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外し、[OK] をクリックする
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



6 [OK] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

4 インターネット接続の設定をする

JavaScript の設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® 7 で Internet Explorer® 8.0 を使用している場合の例です。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

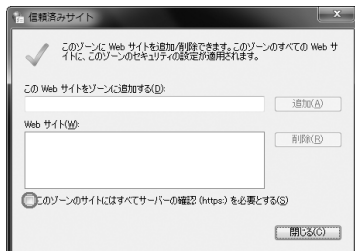
Windows® XP の場合

[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

4 [サイト] をクリックする

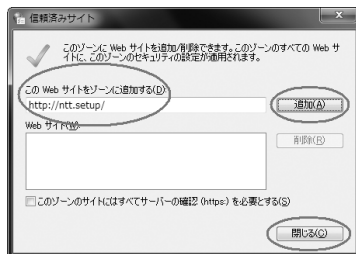
5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す



6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス (工場出荷時は 192.168.1.1) を入力して [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする (例: 「192.168.1.1」)

Windows® XP の場合

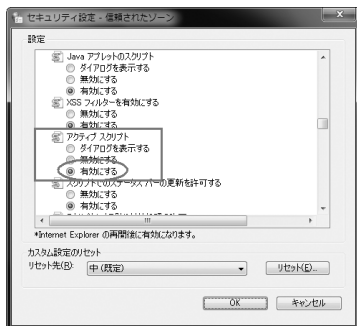
[次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス (工場出荷時は 192.168.1.1) を入力して [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックします。



7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

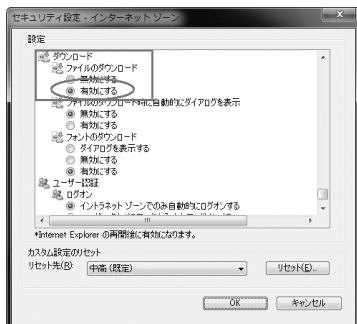
8

画面をスクロールし、[アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更する



9

画面をスクロールし、[ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



10

[OK] をクリックする

4

インターネット接続の設定をする

4-3 本商品の設定をする

本商品のインターネット接続の設定は、Web ブラウザ (Internet Explorer® など) を使って「Web 設定」を起動して行います。

■「Web 設定」で設定する

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきましょう。設定画面が開けない場合には、「4-1 設定の流れ」(●4-2 ページ)をご覧ください。パソコンの設定を確認してください。

1 Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」を入力し、「Web 設定」ページを開く

2 機器設定用パスワードの初期設定を行う

画面にしたがって任意の文字列 (半角英数字及び記号 (「空白」; (セミコロン)」 (ダブルクォーテーション)」を除く) で最大 32 文字まで) を入力してください。



機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

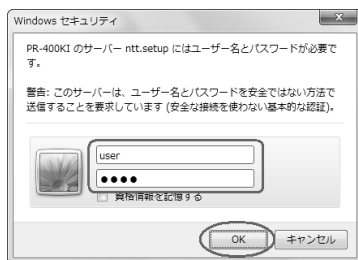
機器設定用パスワード

機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください (●8-10 ページ)。機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。パスワードはお客様にて厳重に管理してください。

3 「設定」をクリックする

「機器設定用パスワードの初期設定に成功しました。OK ボタンを押すと、設定ウィザード画面が表示されます。」と表示された場合は、[OK] をクリックします。

4 ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力し [OK] をクリックする



手順 4 で認証に失敗すると、下記の画面が表示されます。
[トップページへ] をクリックし、再度ユーザー名、パスワードを入力してください。

※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

認証エラー

認証に失敗しました。
ユーザー名とパスワードを確認してください。

[現在のバージョン]
現在のファームウェアバージョン

[アップデート設定]
ファームウェア更新種別

5

プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力する

設定ウィザード

設定ウィザードでは、接続に必要な通信環境の設定を行います。

接続先の設定を行います。

インターネットを通じて接続する場合、プロバイダから用意されている接続先を入力してください。

【接続先タイプを選択】

接続タイプ ☐ インターネット接続先を設定する ☐ インターネット接続先を設定しない

【接続先の設定】

接続先ユーザ名

接続パスワード

※接続先ユーザ名とパスワードの例: xxxxxx.ne.jp

【戻る】

※インターネットの接続先を設定しない場合は、「インターネット接続先を設定しない」を選択し、手順6へお進みください。

※画面は例です。

B フレッツをご利用の場合、「フレッツ・スクウェア接続」が表示されます。(フレッツ光ネクストをご利用の場合は表示されません。)

接続先ユーザ名：

プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。

「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。

例：xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続先ユーザ名は、半角英数字および記号（「空白」「；（セミコロ）」「"（ダブルクォーテーション）」を除く）で入力します。最大63文字まで入力できます。

接続パスワード：

プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。

「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。

接続パスワードは、半角英数字および記号（「空白」を除く）で入力します。最大63文字まで入力できます。

6

【設定】をクリックする

7

【再表示】をクリックする

ひかり電話ランプが緑点灯していることを確認し、【再表示】をクリックしてください。

8

「Web 設定」のトップページが表示される

以上でインターネット接続の設定は終わりました。

Web ブラウザを閉じて「Web 設定」を終了してください。

「接続先の設定」を行った場合は、PPP ランプが緑点灯することを確認してください。

PPP ランプが点灯しない場合は「7 章 故障かな？と思ったら」（7-6 ページ）を参照してください。

4

インターネット接続の設定をする

(次ページに続く)



お知らせ

- 本項の手順で設定された接続先ユーザ名、接続パスワードは「メインセッション」に設定されます。「メインセッション」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
- プロバイダから DNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド (HTML ファイル)」をご覧ください。
- 「フレッツ・スクウェア」で「設定する」を選択した場合は、「セッション 3」に設定されます。フレッツ光ネクストをご利用の場合や、設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 本項の手順は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く場合は、手順 1 に続いて手順 4 の画面が表示されます。機器設定用パスワードの入力が必要となりますので、手順 2 で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。ログインすると、「Web 設定」のトップページが表示されます。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- 対応するブラウザについては「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(●1-14 ページ)をご覧ください。
- 「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 「Web 設定」を操作すると、ひかり電話の通話や内線通話、通信が途切れる場合があります。
- 「Web 設定」を行うとき、「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後、一定時間たってから再度操作を行ってください。
- 他の設定を実行中は、「Web 設定」での設定は行えません。

4-4 インターネットに接続する

Web ブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

- 1 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する
本商品の PPP ランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。
- 2 インターネット上のホームページを開く

4

インターネット接続の設定をする



お知らせ

- PPPoEブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは緑点灯しません。
- 接続モードを要求時接続に設定してる場合、無通信時には PPP ランプが消灯しています。
- インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていれば PPP ランプは緑点灯しますのでご注意ください。
- 本商品では、PPPoE マルチセッション機能を利用して 1 回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド（HTML ファイル）」をご覧ください。
- 2 セッション以上接続中の場合、PPP ランプは橙点灯します。

4-5 フレッツ・スクウェアに接続する

フレッツ・スクウェアへの接続を設定した場合は次の手順で接続してみましょう。

1 Web ブラウザ (Internet Explorer® など) を起動する

2 「フレッツ・スクウェア」の URL を入力し、ページを開く

■フレッツ 光ネクストに接続した場合 (NTT 東日本／NTT 西日本エリアのお客さま) ※ 1

【IPv6 をご利用可能なお客さま】

NTT 東日本エリアのお客さま : <http://flets-east.jp/>

NTT 西日本エリアのお客さま : <http://flets-west.jp/>

【IPv6 をご利用いただけないお客さま】

NTT 東日本エリアのお客さま : <http://www.v4flets-east.jp/>

NTT 西日本エリアのお客さま : <http://www.v4flets-west.jp/>

※ 1 開通のご案内に記載されているお客さま ID の頭 3 文字が「CAF」と記載されているお客さま
設定方法は、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル) の「[設定例] - [フレッツ・スクウェアを利用するには]」を参照してください。

■Bフレッツに接続した場合 (NTT 東日本のお客さま) ※ 2

【IPv6 をご利用可能なお客さま】

フレッツ・スクウェア v6 : <http://flets-v6.jp/> ※ 3

【IPv6 をご利用いただけないお客さま】

フレッツ・スクウェア : <http://www.flets/> ※ 4

※ 2 開通のご案内に記載されているお客さま ID の頭 3 文字が「COP」と記載されているお客さま

※ 3 フレッツ・スクウェア v6 の接続方法は NTT 東日本のホームページ (<http://flets.com/>) などをご覧ください。

※ 4 フレッツ・スクウェアの設定は設定ウィザードで行います。

設定ウィザードは、「Web 設定」をはじめて行う場合にのみ起動します。設定を変更する場合は、「Web 設定」で行ってください。設定方法は、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル) の「[設定例] - [フレッツ・スクウェアを利用するには]」を参照してください。



お知らせ

- 提供条件、接続方法などの詳細は NTT 東日本／NTT 西日本のホームページなどをご覧ください。

NTT 東日本ホームページ : <http://flets.com/>

NTT 西日本ホームページ : <http://flets-w.com/>

- フレッツ 光ネクストに接続し、IPv6 をご利用いただけないお客様向けの URL はフレッツ・スクウェアではなく、サービス情報や速度測定等のサポートメニューを提供するフレッツご利用者専用サイトの URL となります。
- NTT 東日本／NTT 西日本エリアではフレッツ 光ネクストサービス情報サイトとなります。(2011 年 2 月現在)

5

無線 LAN のご利用について

無線 LAN をご利用になる場合はこちらをご覧ください。

- 5-1 無線 LAN 設定の流れ5-2
- 5-2 本商品への無線 LAN カードの取り付け.....5-4
- 5-3 パソコンに装着した無線 LAN カードとの無線 LAN の設定をする
(無線 LAN 簡単接続機能)5-5
- 5-4 ゲーム機との無線 LAN の設定をする
(らくらく無線スタート)5-10
- 5-5 Windows® 7 との無線 LAN の設定をする
(無線 LAN 簡単接続機能)5-17
- 5-6 電話機から無線 LAN の設定を変更する ...5-26

5-1 無線 LAN 設定の流れ

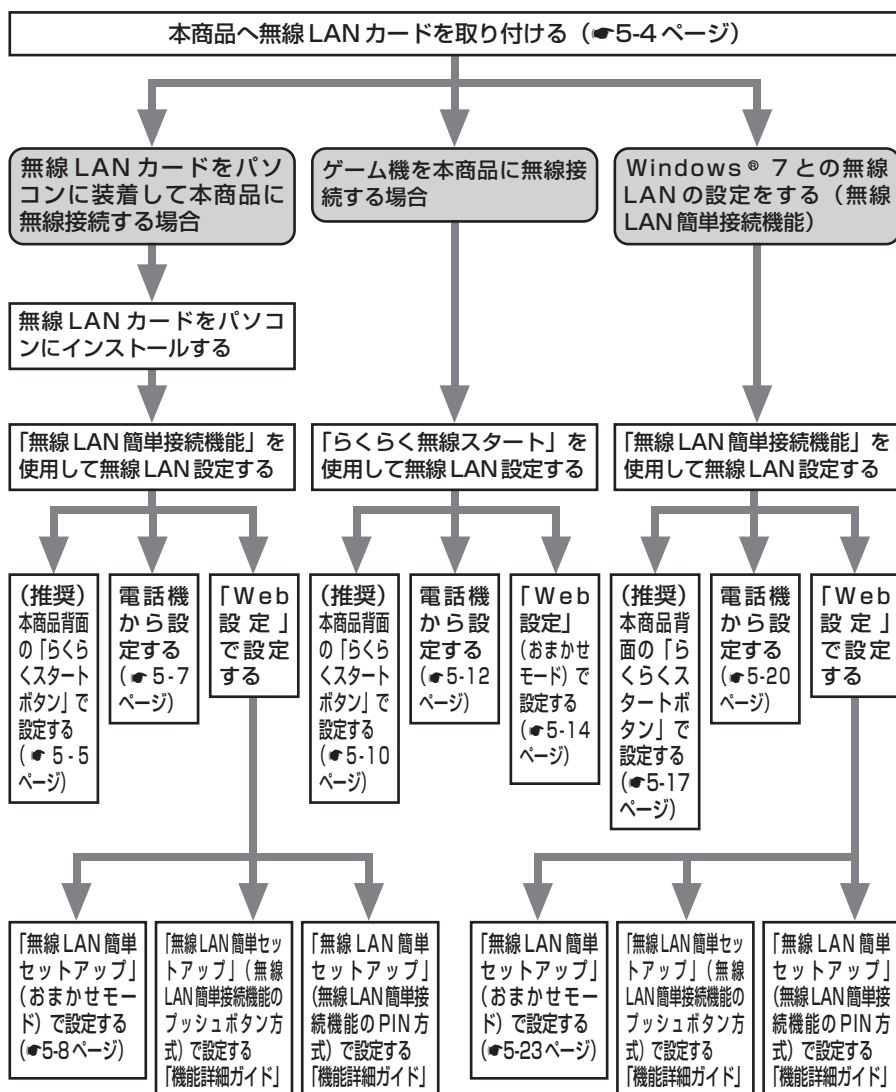
本商品は、無線 LAN カードを取り付けることで、「IEEE802.11b/g 互換」および「IEEE802.11b/g/n 互換」に準拠した無線機能を利用できます。

「IEEE802.11b/g 互換」と「IEEE802.11b/g/n 互換」は、同時利用が可能です。

本商品で無線 LAN をご利用になるには次の手順で設定を行ってください。

※ 無線 LAN をご利用になるには本商品に装着する無線 LAN カードとして SC-40NE が必要です。

パソコンで無線 LAN カードをご利用の場合は、パソコンに装着する無線 LAN カードとして SC-32KI または SC-32HI、SC-32NE、SC-32SE が必要です。



5

5-3

[illegible]

- 手動で無線 LAN 設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－「無線 LAN 設定」、または「無線機能の使いかた」－「無線 LAN 設定」を参照してください。

5-2

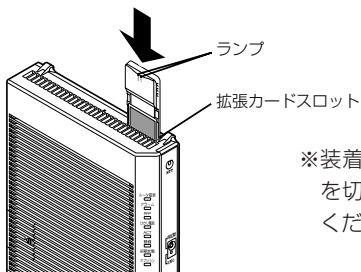
本
無

- 装着の際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- 本商品に装着できる無線 LAN カードは「SC-40NE」のみです。
- パソコンに無線 LAN カードを装着して本商品で無線 LAN 機能を使用される場合には、パソコンの LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させないと無線 LAN カードが使用できない場合があります。無線 LAN カードの取扱説明書をご覧ください。

1

2

無線 LAN カードは図のとおり、本商品のランプ側を右にして無線 LAN カードのランプが見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると本商品や無線 LAN カードが破損する場合があります。



※装着の際は、本商品の電源
を切った状態で取り付けて
ください。

3

無線 LAN カードの PWR ランプと ACT ランプが同時に緑点滅することを確認してください。



注意

無線 LAN カードを取り外す際のご注意

本商品から無線LANカードを取り外す場合は、本商品の電源を切った状態で取り外してください。



お願い

- 電源を入れたまま無線 LAN カードの抜き差しを行うと、本商品および装着した無線 LAN カードが故障する場合があります。
- 電源を入れ直す場合は、10 秒以上の間隔を空けてください。

パソコンに装着した無線 LAN カードとの無線 LAN の設定をする（無線 LAN 簡単接続機能）

「無線 LAN 簡単接続機能」を使用して、無線 LAN カードを装着したパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。

本商品の「無線 LAN 簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

- 「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
 - 電話機から設定する（☛ 5-7 ページ）
 - 「Web 設定」で設定する
 - ・ おまかせモード（らくらく無線スタート&無線 LAN 簡単接続機能）（☛ 5-8 ページ）
 - ・ 「無線 LAN 簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
 - ・ 「無線 LAN 簡単接続機能」（PIN 方式）
- ※「無線 LAN 簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN 方式）については機能詳細ガイドの「Web 設定」の「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 簡単セットアップ」を参照してください。

- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後、一定時間たってから設定を行ってください。
- 「無線 LAN 簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- 本機能で 2 台以上の無線 LAN 端末を同時に設定することはできません。1 台ずつ設定を行ってください。
- 本商品以外には SC-40NE は使用できません。パソコンに装着できる専用無線 LAN カードは SC-32KI または SC-32NE、SC-32SE、SC-32HI のみとなります。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

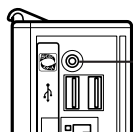
- 1 パソコンにインストールした無線 LAN カードのユーティリティから「無線 LAN 簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。



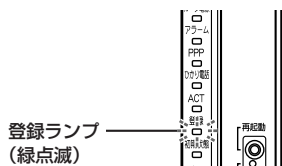
2

本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す



らくらくスタートボタン

「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。(設定によっては橙点滅する場合があります。)



設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(☛5-9 ページ)

3

本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する



設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(☛5-9 ページ)

おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

- 1 パソコンにインストールした無線 LAN カードのユーティリティから「無線 LAN 簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。

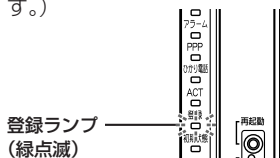


- 2 電話機のハンドセットを取りあげる「ツー」という音を確認します。



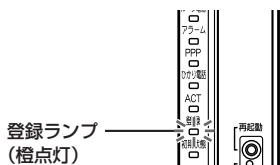
- 3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）



！
設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（●5-9 ページ）

- 4 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する



！
設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（●5-9 ページ）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

- 5 電話機のハンドセットを置く



5
無線 LAN のご利用について



お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、●5-28 ページの「お知らせ」も参照してください。

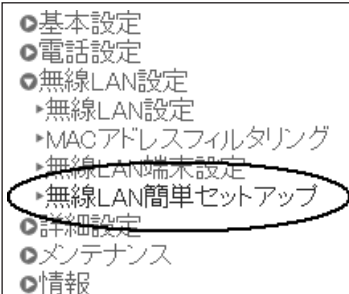
「Web 設定」で設定する



無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] をクリックしたあと、無線 LAN 接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開く

2 メニューの【無線 LAN 設定】－【無線 LAN 簡単セットアップ】を選択する

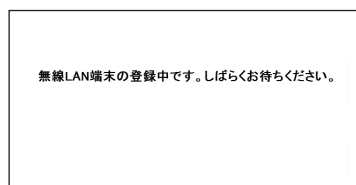
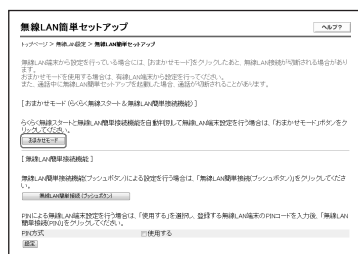


3 パソコンにインストールした無線 LAN カードのユーティリティから「無線 LAN 簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線 LAN カードの取扱説明書などを参照してください。



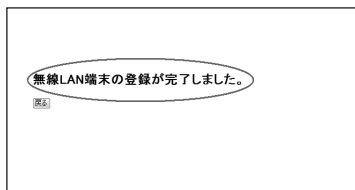
4 「Web 設定」の【おまかせモード】をクリックする



「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

5

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する



おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了します。

！「無線 LAN 簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面で「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」「無線 LAN 端末を登録できませんでした。」などに表示された場合は、設定に失敗しています。

電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2 ご利用開始後のトラブル」（➡7-12 ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順 1 から設定を行ってください。

5

無線 LAN のご利用について



お知らせ

- 無線 LAN 簡単セットアップ実行中に「Web 設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web 設定」画面が正常に表示されない場合があります。



お願い

- 手動で無線 LAN 設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－「無線 LAN 設定」、または「無線機能の使いかた」－「無線 LAN 設定」を参照してください。

ゲーム機との無線 LAN の設定をする (らくらく無線スタート)

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。

本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。

- 「らくらくスタートボタン」で設定する (● 下記)
- 電話機から設定する (● 5-12 ページ)
- 「Web 設定」で設定する
 - ・おまかせモード (らくらく無線スタート&無線 LAN 簡単接続機能) (● 5-14 ページ)

- 本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
(ただし、WPA2-PSK は「らくらく無線スタート」ではご利用になれません)
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。(● 5-26 ページ)
- 接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- 「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。
- 「らくらく無線スタート」設定中の無線 LAN アクセスポイント (本商品) のランプ名称やランプの状態はご利用のゲーム機の説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線 LAN 設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。
- 本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)」で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線 LAN 端末を「WPA-PSK (AES)」に設定します。
- 本機能が 2 台以上の無線 LAN 端末を同時に設定することはできません。1 台ずつ設定を行ってください。

「らくらくスタートボタン」で設定する (推奨)

1

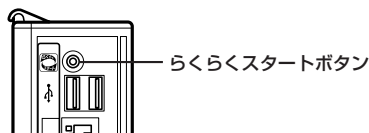
ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

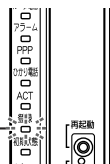
※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

- 2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す



「らくらく無線スタート」の通信が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

登録ランプ
(緑点滅)

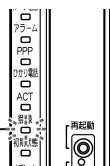


設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(●5-16 ページ)

- 3 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する
「らくらく無線スタート」での設定が開始します。

※30 秒以内に次の手順に進んでください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

登録ランプ
(橙点滅)

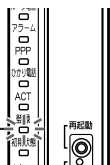


設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(●5-16 ページ)

- 4 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点灯したら離す

設定が完了すると、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

登録ランプ
(橙点灯)



設定中にアラームランプが 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(●5-16 ページ)

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後1分以内に次の手順に進んでください。1分以上たつと自動的にキャンセルされます。

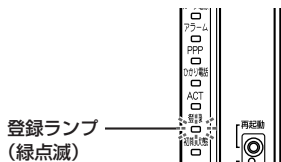
2 電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。



3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 〇 〇」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

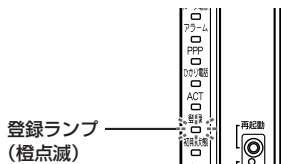


設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(➡5-16ページ)

4 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始し、「ププ、ププ」と聞こえます。

※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

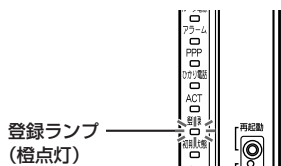


設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(➡5-16ページ)

5

電話機のダイヤルボタン「(*)」を押す

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。



設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(➡5-16 ページ)

6

本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7

電話機のハンドセットを置く

5

無線LANのご利用について



お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ビピ、ビピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、➡5-28 ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する



無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] をクリックしたあと、無線 LAN 接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

1
2

「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開く
メニューの【無線 LAN 設定】－【無線 LAN 簡単セットアップ】を選択する

- 基本設定
- 電話設定
- 無線 LAN 設定
 - ▶無線 LAN 設定
 - ▶MAC アドレスフィルタリング
 - ▶無線 LAN 端末設定
 - ▶無線 LAN 簡単セットアップ
- 詳細設定
- メンテナンス
- 情報

3

ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する



ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

4

「Web 設定」の【おまかせモード】をクリックする



「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末を探しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。

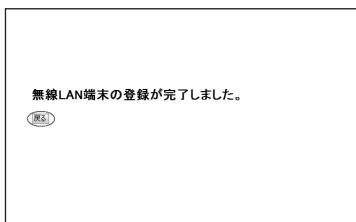
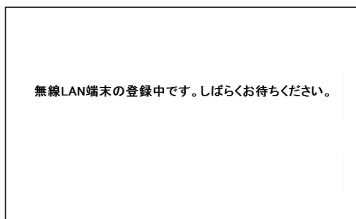
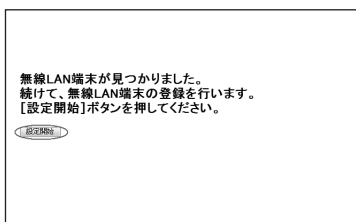


「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」と表示された場合は、設定に失敗しています。（☛5-16 ページ）

5

【設定開始】をクリックする

※30 秒以内にクリックしてください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。



「Web 設定」画面に「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」
「無線 LAN 端末を登録できませんでした。」と表示された場合は、設定に失敗しています。（☛5-16 ページ）

5

無線 LAN のご利用について

設定が完了すると「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録が完了しました。」と表示されます。

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了します。

（次ページに続く）

! 「らくらく無線スタート」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末が見つかりませんでした。」「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。

電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2 ご利用開始後のトラブル」(●7-12 ページ)を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES) に設定する機能があります。

自動的に設定される WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES) の設定値については、「① SSID-1 に設定した場合」(●5-27 ページ)を参照してください。

Windows® 7 との無線 LAN の設定 をする (無線 LAN 簡単接続機能)

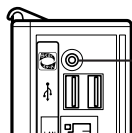
「無線 LAN 簡単接続機能」を使用して、Windows® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。設定が完了するまで、2 分程度かかる場合があります。本商品の「無線 LAN 簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

- 「らくらくスタートボタン」で設定する (☛ 下記)
 - 電話機から設定する (☛ 5-20 ページ)
 - 「Web 設定」で設定する
 - ・ おまかせモード (らくらく無線スタート&無線 LAN 簡単接続機能) (☛ 5-23 ページ)
 - ・ 「無線 LAN 簡単接続機能」(プッシュボタン方式)
 - ・ 「無線 LAN 簡単接続機能」(PIN 方式)
- ※ 「無線 LAN 簡単接続機能」(プッシュボタン方式 / PIN 方式) については、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」の【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 簡単セットアップ】を参照してください。

- 本機能で無線 LAN の設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
- 他の無線 LAN 端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7 の無線 LAN 接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線 LAN 端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
- 「無線 LAN 簡単接続機能」を使用して、Windows® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンと本商品を接続する場合、本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」を「しない」に設定する (☛ 5-26 ページ) または各手順に記載されているパソコンの設定をする必要があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- 「無線 LAN 簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- 本機能で 2 台以上の無線 LAN 端末を同時に設定することはできません。1 台ずつ設定を行ってください。

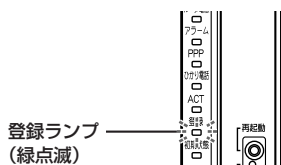
「らくらくスタートボタン」で設定する (推奨)

- 1 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を 1 秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら離す



らくらくスタートボタン

「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。(設定によっては橙点滅する場合があります。)



登録ランプ
(緑点滅)



設定中にアラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛ 5-25 ページ)

2

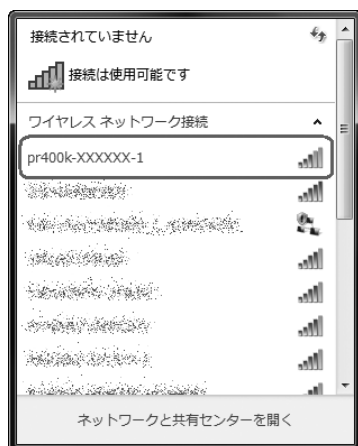
通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※ [スタート] (Windows ® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

3

本商品の SSID-1 に設定している無線ネットワーク名 (SSID) をクリックする

※ 本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名 (SSID) は、本商品側面を確認するか 5-27 ページを参照してください。



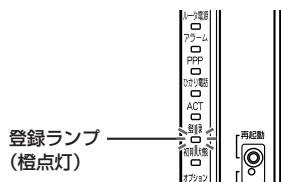
4

[接続] をクリックする



5

本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する



設定中にアラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（●5-25 ページ）

おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

6

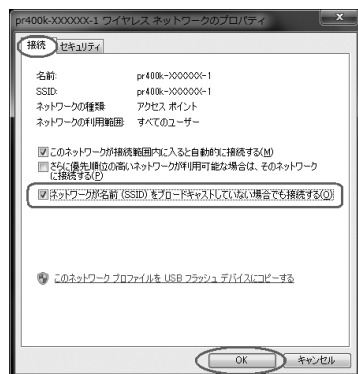
通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

7

手順 3 で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、【プロパティ】をクリックする

8

【接続】タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



5

無線 LAN のご利用について

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

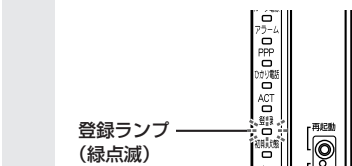
1 電話機のハンドセットを取りあげる
「ツー」という音を確認します。

1 「ツー」という音を確認します。



2 電話機のダイヤルボタンを「※※※①①」と押す
本商品前面の登録ランプが緑点滅します（設定によっては橙点滅）

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。(設定によっては橙点滅する場合があります。)



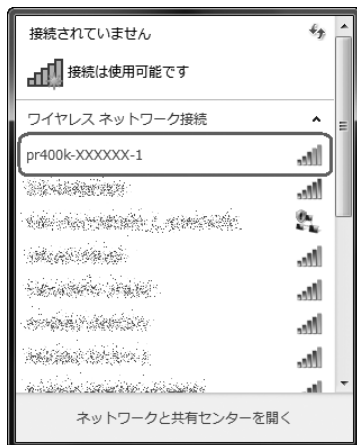
設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(●5-25 ページ)

3 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※[スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

4 本商品の SSID-1 に設定している無線ネットワーク名 (SSID) をクリックする

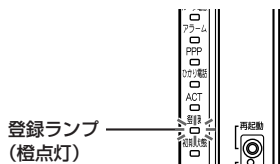
※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名 (SSID) は、本商品側面を確認するか 5-27 ページを参照してください。



5 [接続] をクリックする



6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

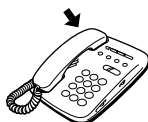


設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
(☛5-25 ページ)

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

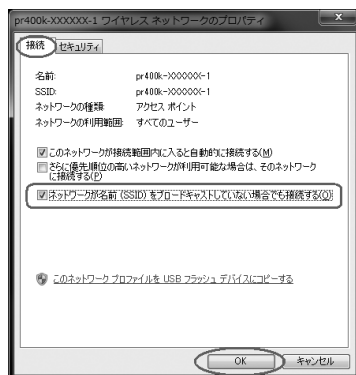
7 電話機のハンドセットを置く



8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 手順 4 で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

【接続】タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、5-28 ページの「お知らせ」も参照してください。

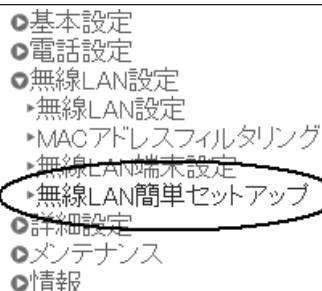
「Web 設定」で設定する



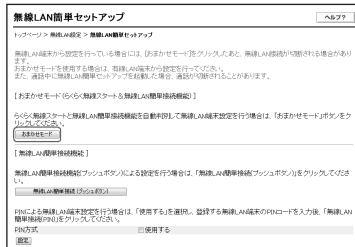
無線LAN端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード] をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。

おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

- 1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品のIPアドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」）を開く
- 2 メニューの【無線LAN設定】－【無線LAN簡単セットアップ】を選択する



- 3 「Web 設定」の【おまかせモード】をクリックする



- 4 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケータ」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) － [コントロールパネル] － [ネットワークとインターネット] － [ネットワークと共有センター] － [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

5

無線LANのご利用に
ついて

(次ページに続く)

5

本商品のSSID-1 に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか5-27ページを参照してください。



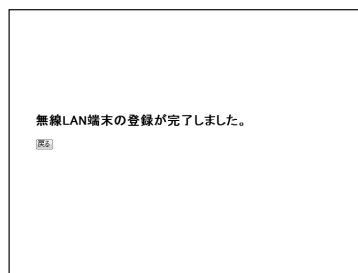
6

【接続】をクリックする

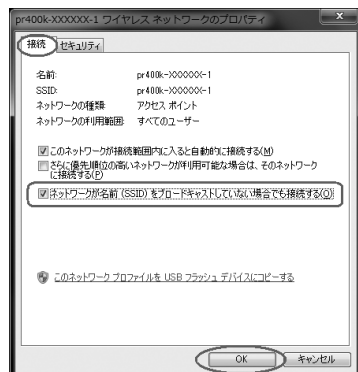


7

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の登録が完了しました。」と表示されることを確認する



- 8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする
- 9 手順5で選択したネットワーク名（SSID）を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 10 [接続] タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



お知らせ

- 無線LAN 簡単セットアップ実行中に「Web 設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web 設定」画面が正常に表示されない場合があります。



お願い

- 手動で無線LAN 設定を行う手順については、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－「無線LAN 設定」、または「無線機能の使いかた」－「無線LAN 設定」を参照してください。



「無線LAN 簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面で「無線LAN 端末が見つかりませんでした。」「無線LAN 端末を登録できませんでした。」などと表示された場合は、設定に失敗しています。

電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。

「7-2 ご利用開始後のトラブル」（7-12ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

電話機から無線 LAN の設定を変更する

電話機から無線 LAN の次の設定を変更することができます。

なお、本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

- ・無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化設定
- ・無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)
- ・無線 LAN 動作モード

●電話機からの暗号化設定により、「無線ネットワーク名 (SSID)」、「暗号化方式」、「事前共有キー (PSK)」、「WEP キー」は上書きされます。

→すでに無線 LAN 接続されている機器がある場合、本商品と同じ設定に変更する必要がありますのでご注意ください。

1 電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。



2 電話機のダイヤルボタンを押す

【無線 LAN 設定】

機能	設定内容	操作
無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化設定 (※ 1)	SSID-1 の設定	(*) (*) (*) 0 1 (*) 1 # #
	SSID-2 の設定	(*) (*) (*) 0 1 (*) 2 # #
無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否) (※ 2)	する	(*) (*) (*) 0 2 (*) 1 # #
	しない	(*) (*) (*) 0 2 (*) 2 # #
無線 LAN 動作モード (※ 3)	IEEE802.11b/g/n 互換にする	(*) (*) (*) 0 2 (*) 3 # #
	IEEE802.11b/g 互換にする	(*) (*) (*) 0 2 (*) 4 # #

※ 1 無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化の設定内容については、5-27 ページを参照してください。

※ 2 初期値は、無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否) を「しない」になっています。

※ 3 無線 LAN 動作モードの初期値は、「IEEE802.11b/g/n 互換」です。

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、すべての設定値が反映されます。

3 電話機のハンドセットを置く



【電話機から設定する場合の無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化の設定内容】

電話機から設定した場合、設定される無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化方式、事前共有キー (PSK)、WEP キーは次のとおりです。

① SSID-1 に設定した場合

無線ネットワーク名 (SSID-1)	pr400k-XXXXXX-1 (XXXXXX は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下 6 桁)
無線の暗号化方式	WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)
事前共有キー (PSK)	○○○○○○○○○○○○○○○ (○○○○○○○○○○○○○○○は、ランダムに生成した本商品固有の 13 桁の半角英数字)

② SSID-2 に設定した場合

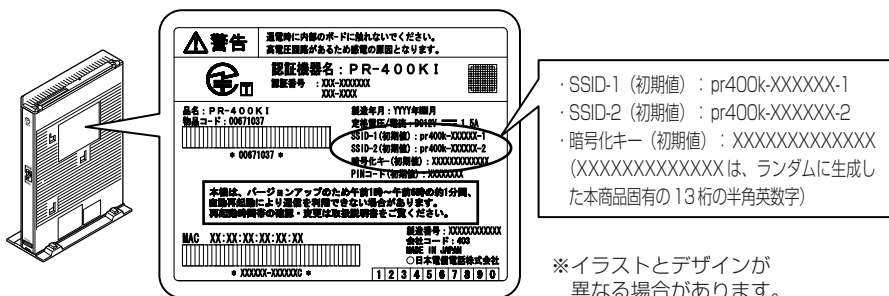
無線ネットワーク名 (SSID-2)	pr400k-XXXXXX-2 (XXXXXX は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下 6 桁)
無線の暗号化方式	WEP (128bit)
使用する WEP キー (キーインデックス)	WEP キー 1
WEP キー 1	○○○○○○○○○○○○○○○ (○○○○○○○○○○○○○○○は、ランダムに生成した本商品固有の 13 桁の半角英数字)

本商品の工場出荷状態では①②の値がそれぞれ SSID-1、SSID-2 に設定されています。



- ・事前共有キー (PSK) および WEP キーをお客様自身で設定する場合、第三者に推測されにくいキーを登録してください。また暗号化キーおよび品名紙記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。WEP をご利用の際は、より強固なセキュリティとするため MAC アドレスフィルタリングを併用してください。(詳しくは「機能詳細ガイド」の「MAC アドレスフィルタリング」を参照してください。)
- ・電話機から WEP (128bit) に設定した場合、お客様自身で設定した WEP キー 2～4 は消去されますのでご注意ください。

※本商品の無線ネットワーク名 (SSID)、事前共有キー (PSK)、WEP キーは本商品側面に記載されています。



本商品側面に記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「ビピ、ビピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話をご利用になれません。

6

本商品のバージョンアップ

本商品のルータ機能部分のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

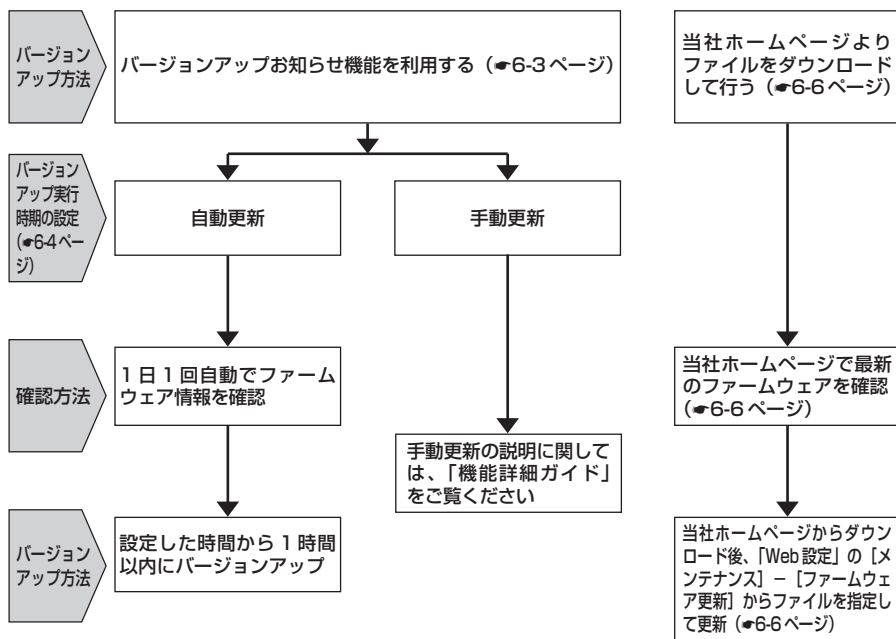
- 6-1 本商品のバージョンアップの流れ6-2
- 6-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする6-3
- 6-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする6-6
- 6-4 ファームウェア情報を確認する6-8

6-1 本商品のバージョンアップの流れ

6章では、ルータ機能部分のバージョンアップについて説明しています。（本書でのバージョンアップとは、本商品のルータ機能部分のファームウェアを本商品にダウンロードして更新することを指します。）

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。

※本商品の初期値は、「自動更新」に設定されています。初期値のままご利用になることをお勧めします。自動更新の説明については6-4ページを参照してください。



バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。

本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

バージョンアップ方法には以下の2通りの方法があります。

- バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛ 下記）
 - ・バージョンアップお知らせ機能の機能概要
 - ・バージョンアップ実行時期を設定する
- 当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛ 6-6 ページ）

バージョンアップお知らせ機能の機能概要

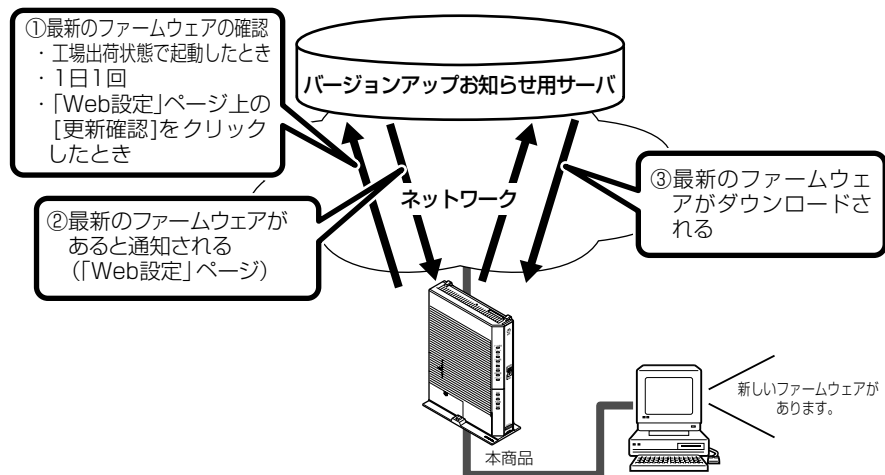
バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認する機能です。

最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。

この機能は、本商品を工場出荷状態で起動したとき、定期的に1日1回、および「Web設定」の画面で「更新確認」をクリックしたときに動作します。（ひかり電話サービス契約、またはインターネット接続の設定が必要です。）

最新のファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

- 本商品の「Web設定」（「トップページ」および「メンテナンス」－「ファームウェア更新」）にて確認する
（「新しいファームウェアがあります。」と表示されます。）



バージョンアップ実行時期を設定する

バージョンアップお知らせ機能で確認した最新のファームウェアに、いつバージョンアップするかを設定します。

最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯に合わせて、自動的にファームウェアの更新を行います。

自動更新は、あらかじめ設定された時間帯（初期値は午前 1 時～午前 5 時のいずれか）にあわせて自動的にファームウェアの更新を行います。

【例】自動更新時間『5：00』と設定されている場合、実際に更新されるのは、『5：00～5：59』の間のいずれかの時間となります。

ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。

<「Web 設定」で設定する場合>

●「自動更新」に設定する場合

- 1 「Web 設定」ページ
（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス
[http://192.168.1.1/]
※工場出荷時の場合）を開く
- 2 メニューの【メンテナンス】－
【ファームウェア更新】を選択する

- 基本設定
- 電話設定
- 無線LAN設定
- 詳細設定
- メンテナンス
 - ・機器設定用パスワードの変更
 - ・設定値の保存&復元
 - ・設定値の初期化
 - ファームウェア更新
 - ・PINGテスト
 - ・機器再起動
 - ・UPnP/NATI情報消去
 - ・ストレージ機器メンテナンス
- 情報

- 3 【アップデート設定】で【自動更新時間】を選択する



- 4 【設定】をクリックする



お知らせ

- お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われなかった場合があります。
- 更新がある場合は指定された時間帯に更新を実行しますが、通話および通信状況によっては更新時間がずれることがあります。

<電話機で設定する場合>

●ファームウェア更新種別を選択する

1 電話機のハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認する

2 電話機のダイヤルボタンを
「※※※⑧⑧ ファームウェア更新種別 ※ 設定値 ※※」と押す

ファームウェア更新種別		設定値
②	自動更新	24 時間を 2 桁で入力します。 (00 ~ 23 の 2 桁) 例) 9 時の場合: ① ①

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

3 電話機のハンドセットを置く



お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、はじめから設定をやり直してください。
- ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中、無線 LAN 設定などの他の設定を実行中は、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が途切れる場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定がご利用になれません。
- お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新が行われない場合があります。
- 更新がある場合は指定された時間帯に更新を実行しますが、通話および通信状況によっては更新時間がずれることがあります。
- 「ファームウェア更新種別」を「手動更新」に設定している場合に、最新のファームウェアが提供されていると、電話機のハンドセットを取りあげたときに、「ピーピーピー」という音が「ツー」という音の前に聞こえます。この場合も通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。通話終了後、「※※※①①」をダイヤルしてファームウェアのバージョンアップを行うと、「ピーピーピー」という音は停止します。

当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web 設定」の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

当社ホームページ <http://web116.jp/ced/> (NTT 東日本)
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/> (NTT 西日本)

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあと、更新を行います。
 以下の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

2 「Web 設定」ページ
 (「<http://ntt.setup/>」もしくは「本商品の IP アドレス
 [<http://192.168.1.1/>]
 ※工場出荷時の場合)を開く

3 メニューの「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択する

- 基本設定
- 電話設定
- 無線LAN設定
- 詳細設定
- メンテナンス
 - ・機器設定用パスワードの変更
 - ・設定値の保存&復元
 - ・設定値の初期化
 - ・**ファームウェア更新**
 - ・PINGテスト
 - ・機器再起動
 - ・UPnP NATI情報消去
 - ・ストレージ機器メンテナンス
- 情報

4 「ファームウェアファイル」の「参照」をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

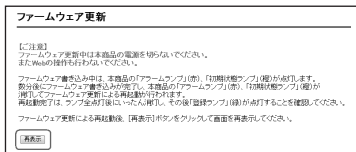
「現在のバージョン」は、「Web 設定」ページメニューの「メンテナンス」－「ファームウェア更新」の「現在のバージョン」現在のファームウェアバージョンに表示されています。

5 「更新」をクリックする

6

[再表示] をクリックする

ひかり電話ランプが緑点灯していることを確認し、[再表示] をクリックしてください。



お願い

- 本商品は自動的に最新のファームウェアの有無を確認し、最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードを行います。回線の接続状態などにより、ダウンロードに失敗した場合は、ファームウェア更新を実行するときにダウンロードも行います。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービスのご契約、またはインターネット接続の設定が必要です。
- 本商品に最新のファームウェアがダウンロードされた状態で、本商品を再起動すると、自動的に最新のファームウェアに更新されます。
- 本商品を工場出荷状態で起動したときに、最新のファームウェアが提供されている場合は、自動的に最新のファームウェアへ更新されます。最新のファームウェアをダウンロード後、本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービスのご契約が必要です。
- 緊急を要するファームウェアが提供された場合は、ファームウェア更新種別の設定にかかわらず、ファームウェア更新が行われることがあります。本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、ファイルを指定して本商品のバージョンアップを行うことができません。ひかり電話使用終了後、一定時間たってから再度、ファームウェアの更新を行ってください。
- バージョンアップを行うと本商品が再起動し、通信は切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN 側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、ひかり電話をご利用いただけません。
- 本商品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、無線 LAN 設定などの他の設定を実行中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
- ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）は本商品のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。その後、アラームランプと初期状態ランプは消灯し、通常のランプ表示に戻ります。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービス契約または、インターネット接続の設定が必要です。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。最新の取扱説明書などが必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。

6

本商品のバージョンアップ

6-4 ファームウェア情報を確認する

本商品に接続されたパソコンの Web ブラウザで「機器情報」ページ（「<http://ntt.setup/info/>」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/info/] ※工場出荷時の場合」）を開くと、ユーザー名やパスワードを入力せずに、本商品の現在のファームウェアバージョンや更新種別を確認できます。

本商品のファームウェアバージョン、ファームウェア更新種別を確認する

1 Web ブラウザを起動し、
「<http://ntt.setup/info/>」もしくは「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/info/] ※工場出荷時の場合」を入力し、「機器情報」ページを開く

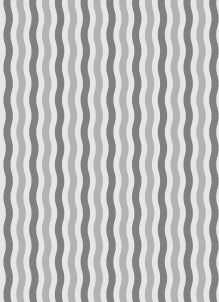
2 [現在のバージョン] に本商品の現在のファームウェアバージョン、
[更新種別] に現在設定されている更新種別が表示されているのを確認する

機器情報	
[現在のバージョン] 現在のファームウェアバージョン	XXXXXXXXXX
[アップデート設定] ファームウェア更新種別	自動更新[データ通信監視あり]00.00
トップページに戻る	

3 続けて本商品の設定をする場合は、[トップページへ戻る]をクリックする

「Web 設定」画面のトップページが表示されます。

このとき、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。詳細は「3-4 パソコンからひかり電話の設定をする」(●3-18 ページ)をご覧ください。



7

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 7-1 設置に関するトラブル 7-2
- 7-2 ご利用開始後のトラブル 7-8

7-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面のルータ電源ランプは緑点灯していますか？

→いいえ (a 参照)

↓ はい

本商品前面のアラームランプは消灯していますか？

→いいえ (b 参照)

↓ はい

本商品前面の認証ランプ、UNI ランプ、光回線ランプ、電源ランプはすべて緑点灯していますか？

→いいえ (c 参照)

↓ はい

本商品前面の ACT ランプが緑点灯していますか？

→いいえ (d 参照)

↓ はい

本商品前面の登録ランプは緑点灯していますか？

→いいえ (e 参照)

↓ はい

本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？

→いいえ (f 参照)

↓ はい

ひかり電話が使えますか？

→いいえ (g 参照)

↓ はい

本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？

→いいえ (h 参照)

↓ はい

パソコンの IP アドレスが設定されていますか？

→いいえ (i 参照)

(IP アドレスの確認方法は、4-4 ページ、8-4 ページ、8-5 ページをご覧ください)

↓ はい

Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？

→いいえ (j 参照)

↓ はい

設定後、本商品前面の PPP ランプが緑点灯していますか？

→いいえ (k 参照)

↓ はい

インターネットに接続できましたか？

→いいえ (l 参照)

↓ はい

上記以外の症状が発生していますか？

→いいえ (m 参照)

a.本商品前面のルータ電源ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
ルータ電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症 状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

c.本商品前面の認証ランプ、UNI ランプ、光回線ランプ、電源ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
光回線ランプが橙点滅している	●ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。「電源ランプ」が赤点滅し、緑点灯になるまでお待ちください。
電源ランプが赤点滅している	●ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。本商品再起動後、緑点灯になります。
電源ランプが消灯または赤点灯している 光回線ランプが消灯または橙点灯している UNI ランプが消灯している 認証ランプが消灯している	●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

d.本商品前面の ACT ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
ACT ランプが消灯する	●本商品に異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

e. 本商品前面の登録ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
登録ランプが消灯または緑点滅している	● 本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。数回再起動を行うことがございますが、電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。 ● ひかり電話開通日前に本商品を接続した場合には登録ランプが消灯または緑点滅します。ひかり電話が開通するまでの間はインターネット接続できません。また「Web 設定」で設定を行うことはできません。
登録ランプが赤点灯している	● 自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	● 自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ● 初期状態ランプが橙点滅しているか確認してください。初期状態ランプが橙点滅している場合は、LAN 側 IP アドレス（サブネット）がひかり電話の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「Web 設定」の「詳細設定」－「DHCPv4 サーバ設定」の「LAN 側 IP アドレス」を変更して設定してください。

f. 本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	● 本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

g. ひかり電話が使えない

症 状	原因と対策
ひかり電話が使えない	● 本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ● ひかり電話でかけられない番号があります。「接続可否番号一覧」（➡3-4 ページ）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページをご確認ください。 ● 使用する電話機がホームテレホンの内線電話機や ISDN 対応電話機などである場合、または電話機の ACR 機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ● 電源を切つてすぐに電源を入れた場合、6 分～10 分程度ご利用できない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を再度入れ直してください。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔を空けてください。

h. 本商品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ● LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LAN ケーブル（付属品／緑色）が本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● 本商品に付属している LAN ケーブル（付属品／緑色）をお使いください。1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。 ● 再度本書の「2-1 設置・接続」（➡2-2 ページ）をご覧のうえ配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ● 「Web 設定」の「詳細設定」－「高度な設定」で「LAN 側 MDI/MDI-X モード」を「自動設定」に設定してみてください。（初期値は「MDI-X 固定」です。） ● パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。

i. パソコンの IP アドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	● パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（➡8-2 ページ）をご覧のうえ再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 「8-1 パソコンのネットワーク設定」（➡8-2 ページ）をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

j. Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されない

症 状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない	● パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「8-1 パソコンのネットワーク設定」（➡8-2 ページ）をご覧のうえ確認してください。 ● Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。（➡4-5 ページ） ● ダイアルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。（➡4-5 ページ） ● 複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web 設定」ページは開きません。Web ブラウザのアドレスに、プロバイダから本商品に割り当てられたグローバル IP アドレス（本商品の WAN 側 IP アドレス）（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。

（次ページに続く）

症 状	原因と対策
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページが表示されない (つづき)	●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●「工事のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。 ●本商品の設定は、ひかり電話の開通日以降に行えます。本商品の登録ランプが緑点灯することを確認してください。 ●本商品の「ポートセパレート」を「使用する」に設定していると、本商品に無線 LAN 接続された端末で「Web 設定」ページを表示できない場合があります。本商品の「ポートセパレート」の設定を確認してください。詳細は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。 ●お客様のご利用環境によっては、「http://ntt.setup/」を入力しても「Web 設定」ページが表示されない場合があります。 表示されない場合は、「本商品の IP アドレス [http://192.168.1.1/] ※工場出荷時の場合」を入力してください。
Web ブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されないまたは操作が正常にできない	●お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript」を有効に設定してください。(➡4-6 ページ、8-6 ページ) ●お使いの Web ブラウザが本商品に対応しているか「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(➡1-14 ページ) をご覧のうえ確認してください。

k. 本商品前面の PPP ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが消灯している	●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で「接続先選択」または「接続先名」、「接続モード」をクリックし、接続したい接続先の情報（接続先ユーザ名、接続パスワード）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で「接続先選択」または「接続先名」、「接続モード」をクリックし、「接続モード」を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPP ランプは消灯したままです。無通信時には PPP ランプが消灯しています。 ●PPPoE ブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは緑点灯しません。

l. インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ (DNS サーバ) アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ (DNS サーバ) アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で「接続先選択」または「接続先名」、「接続モード」をクリックし、DNS サーバアドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス/フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(➡4-5 ページ) ●「Web 設定」の「基本設定」－「接続先設定」で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の「状態」が「接続中」となっていることを確認してください。

m.上記以外の症状が発生している

症 状	原因と対策
上記以外の症状が発生している	●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。 (●6-1 ページ) ●本商品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

7-2 ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	● 接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ● 接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	● 1Gbps (1000Mbps) に対応していないLAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様でLAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで1Gbps (1000Mbps) の通信をご利用になるときは1Gbps (1000Mbps) に対応したLAN ケーブルをご用意ください。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。 ● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 <Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP の場合> ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② 「ipconfig /renew」または「ipconfig」を入力して [Enter] キーを押します。 ③ IP アドレスが「192.168.1.xxx」になることを確認します。 <Mac OS X 10.5/10.6 の場合> ① [アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ② [Ethernet] を選択し、[詳細...] をクリックして [TCP/IP] タブをクリックします。 ③ [DHCP リースを更新] をクリックします。 ④ IPv4 アドレスが「192.168.1.xxx」になることを確認します。
オプションランプが緑色に点灯している	● ONU 機能以外が停止しております。ひかり電話機能、ルータ機能、無線 LAN 機能等のご利用、及び「Web 設定」へのアクセスはできません。

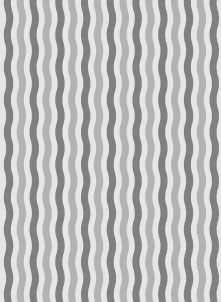
症 状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。起動後、「8-1 パソコンのネットワーク設定」(● 8-2 ページ) をご覧のうえ再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b. 次の手順でIPアドレスを取り直してください。 〈Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP の場合〉 ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 ② [ipconfig /renew] または [ipconfig] と入力して、[Enter] を押します。 ③ IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5/10.6 の場合〉 ① [アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ② [Ethernet] を選択し、[詳細...] をクリックして [TCP/IP] タブをクリックします。 ③ [DHCP リースを更新] をクリックします。 ④ IPv4 アドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。
初期状態ランプが橙点滅する	● LAN 側 IP アドレス (サブネット) がひかり電話の IP アドレス (サブネット) と重複しています。 「Web 設定」の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。
「Web 設定」の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] 設定変更時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	● LAN 側 IP アドレス (サブネット) がひかり電話または接続先の IP アドレス (サブネット) と重複しています。 [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。
「Web 設定」の [基本設定] - [接続先設定] で [接続先選択] または [接続先名]、[接続モード] をクリックして、[IP アドレス] の設定を変更する時に、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない	● LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス (サブネット) が LAN の IP アドレス (サブネット) と重複しています。 「Web 設定」の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。 ● ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス (サブネット) がひかり電話または他の接続先の IP アドレス (サブネット) と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者 (フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者) にお問い合わせのうえ、[接続先設定] で [接続先選択] または [接続先名]、[接続モード] をクリックして、IP アドレスを変更して設定してください。

症 状	原因と対策
「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される	● [接続先設定] の [状態] に、LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、LAN の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。「Web 設定」の [詳細設定] - [DHCPv4 サーバ設定] の [LAN 側 IP アドレス] を変更して設定してください。 ● [接続先設定] の [状態] に、ひかり電話または他の接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（フレッツ・グループアクセスの場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の [基本設定] - [接続先設定] で [接続先選択] または [接続先名]、[接続モード] をクリックして、重複している接続先の IP アドレスを変更して設定してください。
Web 設定できない	● 「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事のため本商品の設定はできません。 ● 「接続回線検索中」と表示された場合は、登録ランプが緑点灯することを確認したあと、Web ブラウザを閉じて、再度ログインを行ってください。（➡4-8 ページ）
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピー」と音がする	● 最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「   」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。（➡6-5 ページ）
ハンドセットを置いたあとすぐに着信音が鳴る	● 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。 ● キャッチホンサービスやダブルチャンネル／複数チャンネルで、先にかかってきた電話とお話中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
ひかり電話の音声品質が安定しない	● 「Web 設定」の [電話設定] - [ひかり電話共通設定] の [音質優先モード] を「優先」または「最優先」に設定します。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	● 電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	● 本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しているか確認してください。ひかり電話ランプが消灯、登録ランプが赤点滅している場合は、ひかり電話のご利用ができませんので、再度、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のひかり電話ランプ、登録ランプが緑点灯します。

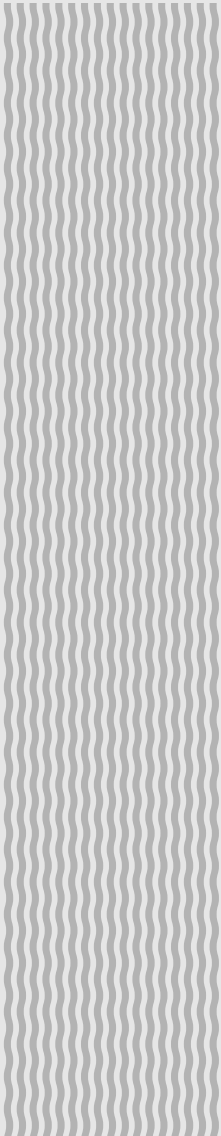
症 状	原因と対策
電話機からの設定がエラーとなる	●ファームウェアの更新中、ファームウェアの更新予約中、当社のひかり電話設備の工事中的ときは、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機からの設定は行えません。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。割込音通知とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。 ●優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。電話機1、2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。アナログポート無効化とあわせて他の設定を一度に行った場合は、他の設定もやり直してください。
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	●本商品に接続するIP端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。IP端末の機能および「通知番号」の設定方法は、IP端末の取扱説明書などをご覧ください。
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新は行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。ただし、一定時間使用中の場合は、ファームウェアの更新は行われません。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。(●6-6ページ) ●本商品のファームウェアの更新中や、ファームウェアの更新予約中、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	●ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定に関わらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアのダウンロード中、更新中です。ファームウェアのダウンロード中、更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅する	●「無線LAN簡単セットアップ」に失敗しています。「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。(●7-12ページ)
突然、再起動した	●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。

症 状	原因と対策
無線 LAN 通信ができない	● 暗号化方式で WEP をご利用になる場合、使用する WEP キー（キーインデックス）および WEP キー（WEP キー 1～4）の設定は本商品と接続する無線 LAN 端末との間で同じ設定としてください。（☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」－「使用する WEP キー（キーインデックス）」） ● 本商品の拡張カードスロットに無線 LAN カードが正しく装着されているか「5-2 本商品への無線 LAN カードの取り付け」（☛5-4 ページ）をご覧ください、確認してください。 ● 「WEB 設定」の「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」で本商品と接続する無線 LAN 端末の使用チャンネルが一致していることを確認してください。使用する無線 LAN 端末によっては、12ch、13ch は使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャンネルの設定を変更してください。 ● MAC アドレスフィルタリングが「使用する」になっている。本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスエントリに登録する必要があります。（☛「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－「無線 LAN 設定」－「MAC アドレスフィルタリング」－「接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレス編集」） ● 本商品に IEEE802.11n 方式対応の無線 LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK (TKIP) または WPA2-PSK (TKIP) に設定していると接続できない場合があります。無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA-PSK (AES) または WPA2-PSK (AES) に変更するか、動作モードを IEEE802.11g 方式または IEEE802.11b 方式に変更して使用してください。 ● 上記を確認しても、無線 LAN 通信ができない場合は無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない	● 本商品の拡張カードスロットに無線 LAN カードが正しく装着されていない →「5-2 本商品への無線 LAN カードの取り付け」（☛5-4 ページ）をご覧ください、確認してください。 ● MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている →本商品の MAC アドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線 LAN 簡単セットアップ」の設定ができません。「Web 設定」の「無線 LAN 設定」－「MAC アドレスフィルタリング」で本商品の MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ● 本商品の使用する WEP キー（キーインデックス）が WEP キー 1 になっていない →無線 LAN 端末で WEP キー 2～4 は対応していない場合があります。「Web 設定」の「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」－「マルチ SSID 設定（■ SSID-2 を選択した場合）」の「使用する WEP キー（キーインデックス）」で本商品の無線の暗号化設定を確認してください。 ● 本商品と無線 LAN 端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線 LAN 端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ● 本商品に他の設定を行っている →本商品の設定中は「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定は行えません。他の設定が終了してから行ってください。 ● ひかり電話使用中、および使用後一定時間内に設定を行っている →ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定は行えない場合があります。ひかり電話使用後一定時間たってから行ってください。

症 状	原因と対策
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない (つづき)	●登録ランプが緑点灯していない →登録ランプが緑点灯していない場合は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定は行えません。「7-1 設置に関するトラブル」(●7-4 ページ)を参照してください。 ●2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している →2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している場合は、「無線 LAN 簡単セットアップ」の設定に失敗します。1 台ずつ設定を行ってください。 ●Windows® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンが接続できない →本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」を「しない」に設定する (●5-26 ページ)、またはパソコンで、「ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定 (●5-19、5-22、5-25 ページ)を行ってください。
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている →本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「暗号化なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES) に設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。 自動的に設定される WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES) の設定値については、「①SSID-1 に設定した場合」(●5-27 ページ)を参照してください。 ●インターネットに接続できていない →本商品前面の PPP ランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線 LAN 簡単セットアップ」で無線 LAN 設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「7-1 設置に関するトラブル」(●7-2 ページ)を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 ●本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) を隠蔽する (ANY 接続拒否)」を「する」に設定し、SSID-1 を「*****」に設定している →本商品の「無線ネットワーク名 (SSID) を隠蔽する (ANY 接続拒否)」を「する」に設定し、SSID-1 を「*****」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。「無線ネットワーク名 (SSID) を隠蔽する (ANY 接続拒否)」を「しない」に設定するか、SSID-1 を「*****」以外に設定してください。 ●本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している →本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。SSID-2 を「使用する」に設定してください。 ●本商品に無線の暗号化が WPA2-PSK に設定されている →本商品の無線の暗号化が WPA2-PSK に設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線 LAN 動作モードが IEEE802.11n 方式または IEEE802.11g 方式に対応したゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-1 の無線の暗号化設定を確認してください。無線 LAN 動作モードが IEEE802.11b 固定のゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-2 の無線の暗号化設定を確認してください。



8



付録

8-1	パソコンのネットワーク設定	8-2
8-2	ひかり電話用無線 IP 端末などの 設定をする	8-7
8-3	設定値の保存・復元	8-8
8-4	本商品の初期化	8-10
8-5	ひかり電話以外のサービスとの 同時利用方法について	8-11
8-6	電話機からの設定一覧	8-14
8-7	用語集	8-17
8-8	索引	8-24
8-9	仕様一覧	8-27

8-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

- ・ Windows® 7/Windows Vista® をご利用の場合
 ➡4-3 ページをご覧ください。
- ・ Windows® XP をご利用の場合
 ➡8-3 ページをご覧ください。
- ・ Mac OS X をご利用の場合
 ➡8-5 ページをご覧ください。

パソコンに設定されている IP アドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。

本商品の IP アドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)の「Web 設定」の「詳細設定」－「DHCPv4 サーバ設定」をご覧ください。

■Web ブラウザの設定 (Windows® のみ)

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

- ・ Windows® をご利用の場合
 ➡4-5 ページをご覧ください。

■JavaScript の設定確認

Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript の設定を有効にする必要があります。

- ・ Windows® をご利用の場合
 ➡4-6 ページをご覧ください。
- ・ Mac OS をご利用の場合
 ➡8-6 ページをご覧ください。

Windows® XP をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

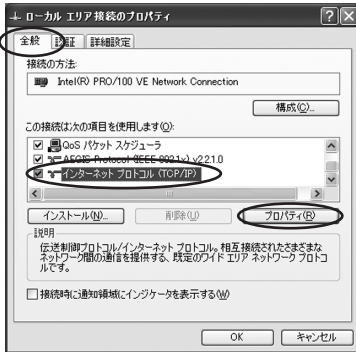
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する

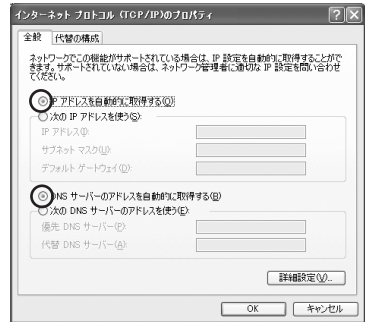
2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする

8

付録



お知らせ

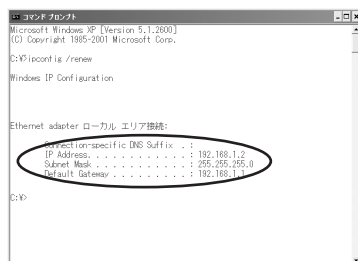
●本書では、Windows® XP の通常表示モード (カテゴリー表示) を前提に記載しています。

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を実行する

3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」または「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカル
エリア接続:] が表示され、IP
アドレス (IP Address) が
[192.168.1.xxx] になっ
ていることを確認する (xxx は
2~254の数字です)



5 「exit」と入力し、[Enter]キーを押す

Mac OS X (10.5/10.6) をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択する
- 2 [Ethernet]を選択し、[IPv4の構成]または[構成]を[DHCPサーバを使用]にする
- 3 [DNSサーバ]と[検索ドメイン]を空白にして、[詳細...]をクリックする



- 4 [TCP/IP]タブをクリックし、[DHCP クライアントID]を空白にして、[OK]をクリックする



- 5 [適用]をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IPアドレスの確認 – パソコンとの接続を確認する

- 1 本商品背面のLINK ランプが緑点灯していることを確認する
- 2 アップルメニューから[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択する
- 3 [Ethernet]を選択し、IPアドレスが[192.168.1.xxx]になっていることを確認する (xxx は 2～254 の数字です)



- 4 ウィンドウを閉じる

8

付録

JavaScript の設定をする (Mac OS)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。以下は Mac OS をご利用の場合です。Windows をご利用の場合は、4-6 ページをご覧ください。

※Web ブラウザの設定で、本商品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

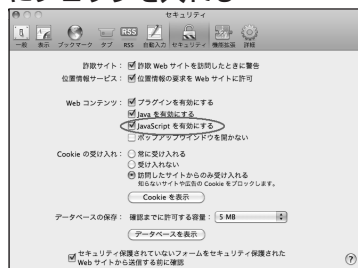
以下は、Mac OS X 10.6 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの [Safari] -
[環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする]
にチェックを入れる



5 ウィンドウを閉じる

ひかり電話用無線 IP 端末などの設定 をする

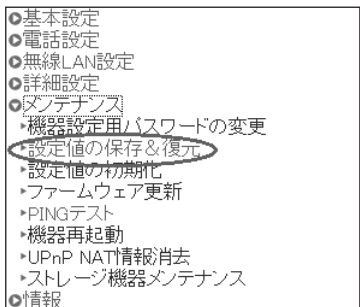
本商品の無線 LAN の設定情報を作成し、ひかり電話用無線 IP 端末などの無線 LAN の設定を行う際にご利用になれます。詳細は「超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

8-3 設定値の保存・復元

「Web 設定」で現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておく、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することも可能です。

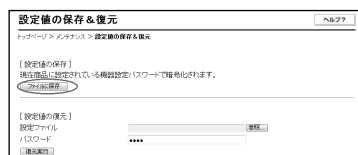
設定値の保存

- 1 「Web 設定」ページ
（「http://ntt.setup/」もしくは「本商品の IP アドレス
[http://192.168.1.1/]
※工場出荷時の場合」を開く
- 2 メニューの【メンテナンス】－
【設定値の保存&復元】を選択する



- 基本設定
- 電話設定
- 無線LAN設定
- 詳細設定
- メンテナンス
 - ・機器設定用パスワードの変更
 - ・**設定値の保存&復元**
 - ・設定値の初期化
 - ・ファームウェア更新
 - ・PINGテスト
 - ・機器再起動
 - ・UPnP NATI情報消去
 - ・ストレージ機器メンテナンス
- 情報

- 3 【ファイルに保存】をクリックする



「設定データの保存を行います。」と表示された場合は、【OK】をクリックします。

ブラウザの情報バーにセキュリティ保護の警告が表示された場合は、オプションを表示して【ファイルのダウンロード】を選択します。

- 4 【保存】をクリックした後、ファイルの保存先を指定し、【保存】をクリックする

- 5 「ダウンロード完了」画面が表示された場合は、【閉じる】をクリックする



ファイルは、自動的に機器設定用パスワードを使用してデータを暗号化して保存されます。

機器設定用パスワードは「設定値の復元」を行う場合に必要となります。

設定値の復元

- 1 「Web 設定」 ページ
(「http://ntt.setup/」 もしくは「本商品の IP アドレス
[http://192.168.1.1/]」
※工場出荷時の場合) を開く
- 2 メニューの【メンテナンス】－
【設定値の保存&復元】 を選択する

- 基本設定
 - 電話設定
 - 無線LAN設定
 - 詳細設定
 - メンテナンス
 - 機器設定用パスワードの変更
 - 設定値の保存&復元**
 - 設定値の初期化
 - ファームウェア更新
 - PINGテスト
 - 機器再起動
 - UPnP NATI情報消去
 - ストレージ機器メンテナンス
 - 情報
- 3 【参照】 をクリックし、設定内容を
保存したファイルを指定する

- 4 【開く】 をクリックする
- 5 パスワードを入力する
「設定値の保存」 で使用した機器設定
用パスワードを入力します。
- 6 【復元実行】 をクリックする

設定値の保存 & 復元 ヘルプ

トップページ > メンテナンス > 設定値の保存 & 復元

【設定値の保存】
現在商品に設定されている機器設定/パスワードで暗号化されます。
[ファイルを選択](#)

【設定値の復元】
設定ファイル 参照...
パスワード ****
[復元実行](#)
- 7 【OK】 をクリックする
- 8 【再表示】 をクリックする
ひかり電話ランプが緑点灯している
ことを確認し、【再表示】 をクリック
してください。



お知らせ

- 機器設定用パスワードは復元されません。
- 以下の設定は復元されない場合があります。復元後に必ず設定内容を確認してください。
 - ・無線ネットワーク名 (SSID)
 - ・事前共有キー (PSK)
 - ・WEP キー
 - ・無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)
 - ・ファームウェア更新種別
- 本商品を再起動すると、通話・通信が切断されます。
- 「設定値の復元」を行う場合に必要なパスワードは、「設定値の保存」を行った時点で使用していた機器設定用パスワードです。
- 設定値を復元するときは、他機種種のバックアップファイルを指定しないでください。
正しく復元できません。
- ご契約の電話番号が変更・追加・削除になった場合、変更・追加・削除以前に保存した設定ファイルは使用しないでください。設定内容が正しく復元できない場合があります。
- お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際に時間がかかる場合があります。

8-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合、機器設定用パスワードを忘れた場合、IP アドレス設定誤りにより本商品にアクセスできなくなった場合などでは、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル) の「Web 設定」の「メンテナンス」－「設定値の初期化」をご覧ください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了すると初期状態ランプは消灯します。

■ 設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1 本商品の初期化スイッチを押した状態を保つ

3 番目の手順が完了するまで、押し続けます。

2 再起動スイッチを押して離す

本商品前面の全ランプが点灯し、ルータ電源ランプ、ACT ランプ以外が消灯します。(※ 1)

3 本商品前面の初期状態ランプが橙点灯したら、初期化スイッチを離す

起動後、初期状態ランプが橙点灯になれば、初期化完了です。

- ※ 1 ここでのランプとはルータ電源ランプ、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、ACT ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプのことを指します。
- ※ 初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。故障の原因となることがあります。



お知らせ

- 本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる場合は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。
- 一度初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻ります。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくことをお勧めします。「8-3 設定値の保存・復元」(8-8 ページ) を参照してください。

ひかり電話以外のサービスとの 同時利用方法について

050IP 電話との同時利用方法について

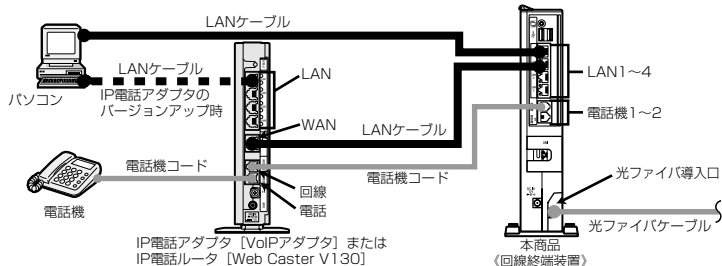
ひかり電話と050IP電話サービスを同時にご利用いただく場合

プロバイダが提供するIP電話サービス（050番号を利用するIP電話サービス。以下、「050IP電話」と略します）とひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず次ページの内容をご確認ください。

① IP電話アダプタをご利用の場合

機器構成 ①

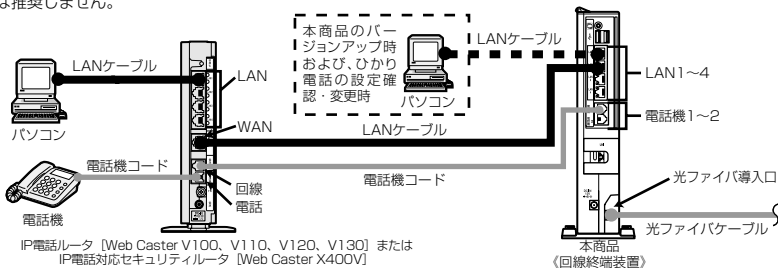
※IP電話アダプタ（VoIPアダプタ）、IP電話ルータ（Web Caster V130）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。



② IP電話ルータ・IP電話対応セキュリティルータをご利用の場合

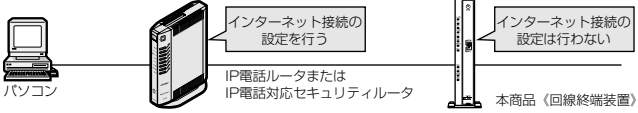
機器構成 ②

※IP電話ルータ（Web Caster V100/V110/V120/V130）、IP電話対応セキュリティルータ（Web Caster X400V）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。



【ご利用上の注意事項】

前ページの構成でひかり電話と050IP電話をご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。ご利用の機器構成ごとに注意いただく事項が異なりますので、下記「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、**★**が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

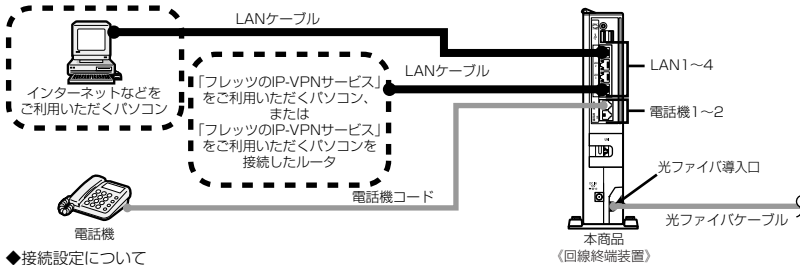
対象となる機器構成		注意事項
①	②	
	★	(1) インターネット接続の設定方法に注意してください。 インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど）は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータにて行ってください。本商品には設定しないでください。  ※インターネット接続の方法は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータに接続してください。 ※パソコンはIP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータに接続してください。（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。）
★	★	(2) 本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部をご利用いただくことができません。 050IP電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP電話アダプタおよびIP電話ルータ/IP電話対応セキュリティルータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。 本商品の「ファームウェア更新種別」を「自動更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。 ※①の機器構成の場合、IP電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみIP電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成） ※②の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成）
★	★	(3) 「ひかり電話」と「050IP電話」の使いわけにご注意ください。（050IP電話ご利用時） 050IP電話で接続できない番号（110・119など）以外は、すべて050IP電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他の050IP電話で利用上の注意については、IP電話アダプタおよびIP電話ルータ/IP電話対応セキュリティルータの取扱説明書などをご確認ください。（「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください。）
	★	(4) 本商品の「PPPoEブリッジ」の設定変更は行わないでください。 本商品は、初期設定時に「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっております。本機能の設定変更は行わないでください。
★		(5) 本商品の「UPnP機能」の設定変更は行わないでください。 本商品は、初期設定時に「UPnP機能」が「使用する」設定となっております。<u>前ページの機器構成①にてご利用いただく場合は</u>、本機能の設定変更は行わないでください。

「フレッツのIP-VPNサービス」※との同時利用方法について

「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」、「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。

※「フレッツのIP-VPNサービス」とはBフレッツでご利用のお客様専用のサービスの「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」、「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」および、フレッツ光ネクストでご利用のお客様専用サービスの「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、1台のルーター・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。



◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【1台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルータを、本商品の下部（LANポート）に接続し、そのブロードバンドルータ下部（LANポート）に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

②インターネットなどの接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。

【ご利用上の注意事項】

- ・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっておりますので、本機能の設定変更は行わないでください。
- ・セッション数の上限は、お客様のご契約状況により異なります。

電話機から設定する場合の機能番号一覧を紹介します。

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービスのご契約が必要です。

【ひかり電話の設定】

電話機からひかり電話の設定ができます。

●ひかり電話共通設定

機能番号	設定項目	機能番号	設定値・設定内容	操作終了
00	音質優先モード ＊ ＊ ＊ 9 0 ＊ 0 0 ＊	＊ 0 0 ＊	①：なし	Ⓜ Ⓜ
			②：優先	
			③：最優先	
01	優先着信ポート ＊ ＊ ＊ 9 0 ＊ 0 1 ＊	＊ 0 1 ＊	①：アナログ端末（電話機 1）	Ⓜ Ⓜ
			②：アナログ端末（電話機 2）	
			③：無効	
02	アナログポート無効化 ＊ ＊ ＊ 9 0 ＊ 0 2 ＊	＊ 0 2 ＊	①：この設定を行う電話機と異なる電話機ポートを利用できなくする	Ⓜ Ⓜ
			②：電話機ポート 1、2 ポート共利用可能とする	

●内線設定（アナログ端末）

機能番号	設定項目	ポート番号 *	機能番号 *	設定値・設定内容	操作終了
91	ナンバー・ディスプレイ * * * 9 9 ① または ② * 9 ① *			①：使用する	Ⓜ Ⓜ
				②：使用しない	
92	モデムダイヤルイン * * * 9 9 ① または ② * 9 ② *			①：使用する	Ⓜ Ⓜ
				②：使用しない	
93	割込音通知 * * * 9 9 ① または ② * 9 ③ *			①：使用する	Ⓜ Ⓜ
				②：使用しない	
94	着信番号 * * * 9 9 ① または ② * 9 ④ *			(着信番号)	Ⓜ Ⓜ
95	指定着信機能 * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑤ *			(着信番号) * (指定着信番号)	Ⓜ Ⓜ
96	キャッチホン・ディスプレイ * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑥ *			①：使用する	Ⓜ Ⓜ
				②：使用しない	
97	ダイヤル桁間タイマ * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑦ *			④：4 秒	Ⓜ Ⓜ
				⑤：5 秒	
				⑥：6 秒	
				⑦：7 秒	
				⑧：8 秒	
98	エコー・キャンセラ * * * 9 9 ① または ② * 9 ⑧ *			①：使用する	Ⓜ Ⓜ
				②：使用しない	
00	通知番号 * * * 9 9 ① または ② * ⑩ ⑩ *			(通知番号)	Ⓜ Ⓜ
01	内線番号 * * * 9 9 ① または ② * ⑩ ① *			(内線番号)	Ⓜ Ⓜ
02	着信音選択 * * * 9 9 ① または ② * ⑩ ② *			(着信番号) *	Ⓜ Ⓜ
				① IR ② SIR	

【無線 LAN の設定】

電話機から無線 LAN の設定を変更することができます。

●無線 LAN の設定を変更する

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
—	無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化設定 (*) (*) (*) ① ① (*)	① : SSID-1 の設定	(H) (H)
		② : SSID-2 の設定	
—	無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否) (*) (*) (*) ① ② (*)	① : する	(H) (H)
		② : しない	
—	無線 LAN 動作モード (*) (*) (*) ① ② (*)	③ : IEEE802.11b/g/n 互換にする	(H) (H)
		④ : IEEE802.11b/g 互換にする	

●らくらく無線スタート、無線 LAN 簡単接続機能を起動する

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
—	おまかせモード (らくらく無線スタート&無線 LAN 簡単接続機能) の起動 (*) (*) (*) ① ①	—	—

【バージョンアップの設定】

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップすることができます。

●ファームウェア更新種別を設定する

機能番号	設定項目	更新種別 (*)	設定値・設定内容	操作終了
—	自動更新 (*) (*) (*) ⑧ ⑧	② : 一定量データ 通信監視有効 (*)	① ① ~ ② ③ の 2 桁 (24 時間を 2 桁で入力します。)	(H) (H)
		③ : 一定量データ 通信監視無効 (*)		
—	手動更新 (*) (*) (*) ⑧ ⑧ ⑨	(*)	① : 再起動更新「有効」	(H) (H)
			② : 再起動更新「無効」	

●バージョンアップ方法 (「手動更新」の場合)

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
—	バージョンアップ (*) (*) (*) ① ①	—	—

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

AES

Advanced Encryption Standard の略。
WPA-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。AES は TKIP や WEP と比べて、より解読されにくいものになっている。

ANY 接続拒否

無線 LAN 端末からの ANY 接続（どの無線 LAN アクセスポイントにも接続できる特殊な SSID）を拒否する機能。

CHAP

Challenge Handshake Authentication Protocol の略。
PPP で接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAP と異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴がある。
RFC1994 で仕様が公開されている。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。
TCP/IP プロトコルを使用する各機器は、固有の IP アドレスを持つ必要がある。DHCP は、IP アドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合、IP アドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IP アドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。

DHCP クライアント

DHCP サーバにより IP アドレスを割り当てられるシステム。

DHCP サーバ

DHCP を用いて IP アドレスなどの設定を配布・管理するシステム。

DMZ

DeMilitarized Zone の略。
グローバル側からのアクセスを特定のホストに転送する機能。ネットワークゲームなどを使用するときに用いる。

DNS

Domain Name System の略。
TCP/IP ネットワークで使われ、コンピュータについた名前と実際のアドレスを関連付けるシステム。

DNS サーバ

ホスト名と IP アドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせに IP アドレスを通知するサーバ。

IEEE802.11b

無線 LAN の規格の 1 つ。
2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 11Mbps。

IEEE802.11g

無線 LAN の規格の 1 つ。
2.4GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 54Mbps。

IEEE802.11n

無線 LAN 規格の 1 つ。
2.4GHz/5GHz の周波数帯を利用し、伝送速度は最大で 300Mbps（アンテナ 2 本利用時）。本商品では、2.4GHz 帯のみ利用可能。

IP	Internet Protocol の略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IP アドレスにより相手先を判断する。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。(例：192.168.1.10)
IP マスカレード	ポート番号を変換し、1 つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換する機能。
LAN	Local Area Network の略。 1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MAC アドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア (LAN カードなど) につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MAC アドレスフィルタリング	無線 LAN 通信においてサーバが通信できる MAC アドレスを指定し、通信を受けたくない無線 LAN 端末などからの通信を防ぐ機能。
ONU	光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持つ。
PAP	Password Authentication Protocol の略。 PPP リンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。RFC1334 で仕様が公開されている。
PING	Packet InterNet Groper の略。 TCP/IP ネットワークにおいてパケットの送受信テストを行うコマンド。ネットワーク機器が接続されているかどうかの確認に利用する。
PPP	Point to Point Protocol の略。 遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	Point to Point Protocol over Ethernet の略。 ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。Ethernet 上でダイヤルアップ接続 (PPP 接続) と同じように利用者の接続先ユーザ名や接続パスワードのチェックを行う。
SIP	Session Initiation Protocol の略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの 1 つ。RFC3261 で仕様が公開されている。

TCP	Transmission Control Protocol の略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。 インターネットや LAN で一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 WPA-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。TKIP は、WEP でも使用されている RC4 という暗号化アルゴリズムを採用している。
UPnP	Universal Plug and Play の略。 パソコンや周辺機器、AV 機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
USB	Universal Serial Bus の略。 キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格の 1 つ。
VDSL	Very high-bit-rate Digital Subscriber Line または Very high-speed Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、利用者側は、すでに一般家庭に普及している電話回線を用意するだけでよいが、経路の一部に光ファイバを利用する。
VDSL モデム	コンピュータを VDSL 回線に接続する際に必要になる信号変換機。加入電話回線を通じて送られてくる VDSL 信号を Ethernet の信号に変換したり、その逆を行い、VDSL モデムとコンピュータの間は Ethernet LAN で接続する。
VoIP	Voice over Internet Protocol の略。 インターネットやイントラネットのような IP ネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内 LAN を使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
VPN	Virtual Private Network の略。 インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワークのこと。
WAN	Wide Area Network の略。 地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続し、データをやり取りするネットワーク。

Web ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer® がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザが指定した任意の文字列（WEP キー）を本商品と無線 LAN 端末に登録することによって、WEP キーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEP キー	WEP で用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録したうえで通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA2	Wi-Fi Protected Access2 の略。 WPA の新バージョンで、AES 暗号化に対応した WPA より強固な暗号化方法。
WPA-PSK/WPA2-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key/Wi-Fi Protected Access2 Pre-Shared Key の略。 WPA/WPA2 セキュリティ設定の認証方式の 1 つ。Pre-Shared Key を使うと、認証サーバを用意しなくても WPA/WPA2 セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK/WPA2-PSK には、AES や TKIP などの暗号化がある。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbps の伝送速度をもつ。
1000BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、1G bps（1000Mbps）の伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【あ行】

イーサネット（Ethernet）	LAN の通信方式。100BASE-TX、1000BASE-T などの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線 LAN 端末から無線 LAN アクセスポイントを経由して行う無線 LAN の通信。
エコー・キャンセラ	自分側の音声が入力機器に拾われて反響やハウリングが起きるのを防止する機能。

【か行】

回線終端装置	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。B フレッツでは ONU（Optical Network Unit）などを指す。
クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
ゲートウェイ	プロトコルの異なる LAN 同士や LAN と WAN とを接続する装置。

【さ行】

サーバ	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上では Web サーバがホームページ情報を提供する。
サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IP アドレスは、所属するサブネットのアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末のアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
自動設定	本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。
静的 IP マスカレード	IP マスカレード使用時に、LAN 側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線 LAN を狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャンネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨する。

ドメイン

「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード

コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。
パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。

ひかり電話

NTT 東日本／NTT 西日本提供の IP 電話サービス。

ファームウェア

本商品を動作させるためのソフトウェア。

ファイアウォール

外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。
LAN とインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。

フレッツ・スクウェア

フレッツサービスをご利用のお客様専用のサイト。

フレッツ 光ネクストサービス情報サイト

NTT 東日本／NTT 西日本エリアでフレッツ 光ネクストをご利用のお客様専用のサイト。(2011 年 2 月現在)

プロキシサーバ

各装置から SIP プロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。

プロトコル

通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。

プロバイダ

インターネットの接続サービスを提供している事業者。

ポートセパレート

暗号化方式を WEP または暗号化なしで設定している無線 LAN 端末から、本商品の「Web 設定」へのアクセス並びに本商品の LAN 側に接続されている端末へのアクセスを制限する機能。

ポート番号

TCP/IP において、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

マルチセッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。
無線 LAN アクセスポイント	有線 LAN とインフラストラクチャ通信に設定した無線 LAN 端末との通信の中継や、無線 LAN 端末同士の通信の管理を行う。
無線ネットワーク名 (SSID)	SSID は Service Set Identifier の略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名 (SSID) を設定して使用する。

【ら行】

らくらく無線スタート	無線 LAN アクセスポイントとゲーム機との無線 LAN 設定を電話機やパソコン、らくらくスタートボタンから簡単に行うことができる機能。
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

 の付いている用語は「機能詳細ガイド」に記載されています。

【数字】

100/1000BASE-T ランプ …1-9、1-13

【A～Z】

ACT ランプ ……1-6、1-10、3-2、8-27

ANY 接続拒否 ……5-26、8-16、8-17

IP アドレス …4-4、8-4、8-5、8-18、

IP アドレスの確認

Windows® 7/Windows Vista® …4-4

Windows® XP ……8-4

Mac OS X ……8-5

IP フィルタ ……8-28

IP マスカレード ……8-18、8-28、

JavaScript ……4-6、8-6

LAN ケーブル ……1-2、1-3、2-5

LAN ポート …1-9、1-13、1-14、8-27

パソコンの～ ……1-14

LINK ランプ ……1-9、1-13

ONU ……8-18

PPP ランプ …1-6、1-10、4-11、8-27

PR-400KI 機能詳細ガイド CD-ROM

…22、25、1-2、1-3

PSK ……5-27、8-9

SC-40NE ……1-4、1-14、5-4

TKIP ……8-19

UNI ポート ……1-9、1-13

UNI ランプ ……1-6、1-10、3-2、8-27

UPnP ……8-12、8-19、

Web 設定 ……4-8、5-8、5-14、5-23、

6-4、

Web ブラウザ ……1-14、4-5、8-20

WEP ……5-27、8-9、8-20、

WPA-PSK/WPA2-PSK

…5-10、5-27、8-20

WPA-PSK (AES) ……16、5-10

【ア行】

アラームランプ ……1-6、1-10、8-27

一斉着信 ……3-13

お客様サポート ……裏表紙

【カ行】

回線終端装置 ……8-21

拡張カードスロット

…1-9、1-13、5-4、8-27

各部の名前 ……1-6

機器設定用パスワード ……4-8

機能詳細ガイド ……22

キャッチホン ……3-6

キャッチホン・ディスプレイ

…3-12、3-23、3-30、8-15

クライアント ……8-21、

故障かな？と思ったら ……7-1

個別着信 ……3-13

ご利用開始後のトラブル ……7-8

【サ行】

サーバ ……8-21、

事前共有キー (PSK) ……5-27、8-9

指定着信機能

…3-16、3-24、3-32、3-37、8-15

仕様一覧 ……8-27

初期化 ……8-10

初期化スイッチ ……1-6、1-10、8-10

初期状態ランプ

…1-6、1-10、8-10、8-27

初期設定 ……4-8

スタンドを付けて縦置きにする ……2-2

スタンドを用いて壁掛けにする ……2-3

静的 IP マスカレード …8-21、8-28、

接続

インターネットに～する ……4-11

電源を～する ……2-6

電話機を～する ……2-5

フレッツ・スクウェアに～する ……4-12

本商品とパソコンの～を確認する

…4-4、8-4、8-5

接続先ユーザ名 ……4-9、

接続パスワード ……4-9、

設置する ……2-2

設置に関するトラブル	7-2
設定一覧	3-29、8-14
設定する	
JavaScript	4-6、8-6
「Web 設定」で～	4-8、5-8、5-14、5-23、6-4、 
Web ブラウザ	4-5
ゲーム機との無線 LAN の～	5-10
電話機から～	5-7、5-12、5-20
電話機から無線 LAN 動作モードを～	5-26
電話機から無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否) の～	5-26
電話機から無線の暗号化を～	5-26
電話機からひかり電話の～	3-27
内線番号	3-11
パソコンからひかり電話の～	3-18
パソコンのネットワーク	
Windows® 7/Windows Vista®	4-3
Windows® XP	8-3
Mac OS X	8-5
ひかり電話用無線 IP 端末	8-7
複数の電話機での同時着信や 使い分けを～	3-33
本商品の設定	4-8
無線 LAN	5-2
無線 LAN 簡単接続機能	
～	5-5、5-17、 
無線 LAN 簡単セットアップ	
～	5-8、5-14、5-23、 
「らくらくスタートボタン」で～	5-5、5-10、5-17
設定値	
復元	8-9
保存	8-8
セットの確認	1-2

【タ行】

対応 OS の確認	1-14
縦置き／壁掛け兼用スタンド	
～	1-2、1-3、2-2、2-3、2-4
ダブルチャネル／複数チャネル	3-9
着信鳴り分け	3-13
電源アダプタ	1-2、1-3
電源アダプタ端子	1-9、1-13
電源ランプ	1-6、1-10、3-2、8-27
電子マニュアル	25
電話機ポート	1-9、1-13、2-5、8-27
登録ランプ	1-6、1-10、3-2、8-27

【ナ行】

内線通話	3-5
内線転送	3-5
ナンバー・ディスプレイ	3-8、3-23、3-28、3-30、8-15
認証ランプ	1-6、1-10、3-2、8-27

【ハ行】

バージョンアップ	6-1
当社ホームページよりファイルを ダウンロードして～する	6-6
バージョンアップお知らせ機能を 利用して～する	6-3
パソコンの準備	1-14
発信者情報 (番号) の通知	3-9
光回線ランプ	1-6、1-10、3-2、8-27
ひかり電話	
受けかた	3-3
かけかた	3-2
接続可否番号一覧	3-4
設定	3-18、3-27、8-14
使いかた	3-2
電話番号	3-11
発着信できるサービス	3-4
ひかり電話以外のサービスとの 同時利用	8-11
付加サービス	3-6
ひかり電話用無線 IP 端末	3-36、8-7
ひかり電話ランプ	
～	1-6、1-10、3-2、8-27
光ファイバ導入口	1-9、1-13、2-5
フッキング	3-5、3-7
フレッツ・スクウェア	4-12、8-22
フレッツの IP-VPN サービス	8-13

【マ行】

マイナンバー／追加番号	3-10
マルチセッション	8-23、 
無線 LAN カード	1-4、5-4、5-5
取り付け	5-4
取り外し	5-4
無線 LAN の設定	
～	5-5、5-10、5-17、5-26、8-16
無線ネットワーク名 (SSID)	
～	5-26、5-27、8-23
モデムダイヤルイン	
～	3-14、3-23、3-30、8-15

(次ページに続く)

【ヤ行】

ユーザ名	3-18、4-8、4-9
優先着信ポート	3-14、3-19、3-29、 3-31、8-14
用語集	8-17

【ラ行】

らくらくスタートボタン	1-9、1-13、5-5、5-10、5-17
らくらく無線スタート	5-10、8-23
ランプの確認	3-2
ランプ表示	1-6、1-8、1-9、1-10、 1-12、1-13、3-2、8-27
ルータ電源ランプ	1-6、1-10、3-2、8-27

【ワ行】

割込音通知	3-12、3-23、3-30、3-31、8-15
----------------	--------------------------

■ PR-400KI

■ ハードウェア仕様		
項 目		仕 様
LAN ポート	インタフェース	1000BASE-T / 100BASE-TX (IEEE802.3ab / IEEE802.3u) オートネゴシエーション
	コネクタ形状	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
	ポート数	4 ポート (スイッチングハブ内蔵)
拡張 カード スロット	インタフェース	ExpressCard/34 (PCI Express) 準拠 ※オプションの無線 LAN カード SC-40NE 専用
	スロット数	1 スロット
電話機 ポート	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
	ポート数	2 ポート
	供給電圧	約 - 48 V (無負荷時)
USB ポート	インタフェース	USB2.0
	コネクタ形状	Type A
	ポート数	2 ポート
ランプ 表示	ルータ電源 ランプ	電源通電時：緑点灯
	アラームランプ	装置障害時：赤点灯、 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定失敗時：赤点滅 10 秒間、 USB ポートの異常検出時：赤点滅 10 秒間
	PPP ランプ	1 セッション接続中：緑点灯、2 セッション以上接続中：橙点灯
	ひかり電話 ランプ	ひかり電話利用可能時：緑点灯、 ひかり電話通話中 / 着信中 / 呼び出し中：緑点滅
	ACT ランプ	ひかり電話機能 / ルータ機能利用可能時：緑点灯、 ひかり電話機能 / ルータ機能でデータ通信中：緑点滅
	登録ランプ	ひかり電話設定完了時：緑点灯、 ひかり電話設定中：緑点滅、ひかり電話設定失敗時：赤点灯 / 赤点滅 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定中：緑点滅 / 橙点滅、 「無線 LAN 簡単セットアップ」設定完了時：橙点灯
	初期状態ランプ	工場出荷状態：橙点灯、IP アドレス重複時：橙点滅
	オプションランプ	USB 機器接続時：青点滅 (3 回点滅後 2 秒点灯)
	認証ランプ	認証状態：緑点灯
	UNI ランプ	内蔵の ONU 機能利用可能時：緑点灯 内蔵の ONU 機能でデータ通信中：緑点滅
	光回線ランプ	正常状態：緑点灯 装置運用準備中または装置故障：橙点灯 ONU 機能のファームウェアのダウンロード中：橙点滅
	電源ランプ	電源通電時：緑点灯 装置故障時：赤点灯 ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態：赤点滅
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
	らくらくスタート	無線 LAN 簡単セットアップ用など
	再起動	本装置を再起動

■ ハードウェア仕様

項 目		仕 様
筐体外観		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0～40℃ 湿度：20～80%（結露しないこと）
外形寸法	GE-ONU一体型	約45（W）×171（D）×238（H）mm（突起部分を除く）
	GV-ONU一体型	約45（W）×171（D）×238（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100±10V 50/60Hz
消費電力	GE-ONU一体型	最大22W以下（電源アダプタを含む）
	GV-ONU一体型	最大26W以下（電源アダプタを含む）
質量	GE-ONU一体型	約610g（電源アダプタ、無線カード含まず）
	GV-ONU一体型	約840g（電源アダプタ、無線カード含まず）
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

■ ソフトウェア仕様

項 目		仕 様
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）
	PPP認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP固定／PAP固定
	PPP接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断）
	接続先数	登録：5箇所、同時接続：5箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大150経路）
	DHCPサーバ機能	あり（最大253アドレス割当）
	DNS Proxy機能	あり（LAN側DNSサーバ指定可）
	NAT機能	IPマスカレード：最大4096セッション 静的NAT：最大64アドレス
	静的IPマスカレード機能	あり（ポート番号の範囲指定可）
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり
	簡易DMZホスト機能	あり（LAN側IPアドレス指定による）
	複数固定IPサービス対応（Unnumbered）機能	あり
	IPフィルタ機能	方針、プロトコル種別、入カインタフェース、出カインタフェース、IPバージョン、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、送信先ポート指定可能
ブリッジ機能	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）、不正アクセス検出機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）
	ブリッジ対象	PPPoEパケット、IPv6パケット（Bフレッツをご利用の場合のみ）
VoIP機能	接続手順	SIP
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ-law
	エコー・キャンセラ	ITU-T G.168
Webブラウザ、電話機による設定・保守	設定方法	Webブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	回線状態、WAN側IPアドレス、バージョン情報他
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ルータ機能のソフトウェアバージョンアップ機能	Webブラウザを使用、電話機を使用

■ ソフトウェア仕様				
項 目		仕 様		
無線 LAN 機能 (拡張カードスロットに無線 LAN カード (SC-40NE) を装着した場合)	規格	IEEE802.11b	IEEE802.11g	IEEE802.11n
	周波数帯域	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz)		
	チャンネル	1 ~ 13ch		
	伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式	
	伝送速度※ 1	11/5.5/2/1Mbps (自動切換)	54/48/36/24/ 18/12/9/6Mbps (自動切換)	[HT20] 144.4/130/117/ 104/78/72.2/ 65/58.5/52/39/ 26/19.5/13/6.5 Mbps [HT40] 300/270/243/ 216/162/150/ 135/121.5/108/ 81/54/40.5/27/ 13.5Mbps (自動切換)
	アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)		
セキュリティ		無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)、 MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、 WEP (128/64bit)、WPA-PSK (TKIP/AES)、 WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)		

※ 1 無線 LAN の規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

MEMO

MEMO

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：

【NTT東日本】 <http://web116.jp/ced/>

【NTT西日本】 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品を利用した基本的なインターネット接続設定について

フレッツ光を新規にお申し込みいただいた際にお送りしております「設定用CD-ROM」のご利用により、本商品の基本的なインターネット接続設定が簡単に実施可能です。

ご利用には「設定用CD-ROM」が添付された冊子「超カンタン設定ガイド」をご覧ください。くか、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：☎ **0120-275466**（10:00～18:00 年中無休）

※携帯電話からご利用の場合

0570-064074（通話料金がかかります）

※PHS・050IP電話からはご利用いただけません。

●本商品の詳細なお取り扱いに関するお問い合わせ（9:00～17:00）

お問い合わせ先：☎ **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100（通話料金がかかります）

※年末年始（12月29日～1月3日）は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ（24時間 年中無休※）

お問い合わせ先：☎ **0120-242751**

※携帯電話・PHSからもご利用可能です。

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱い、および故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：☎ **0120-248995**

※携帯電話・PHSからもご利用可能です。

受付時間

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：9:00～17:00

※年末年始（12月29日～1月3日）は休業とさせていただきます。

・故障に関するお問い合わせ：24時間 年中無休

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理等の対応時間は9:00～17:00です。

お問い合わせ時には、フレッツ光を新規にお申し込みいただいた際にお送りしております「開通のご案内」をご用意ください。

また、インターネット接続の設定をしている場合は、ご契約のプロバイダ資料についてもご用意ください。

なお、電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。